

2025年11月16日

# 【令和7年 世田谷区遺跡調査研究発表会】

## 横穴墓から見た世田谷区の古代



松崎 元樹（東京都埋蔵文化財センター）



# I 多摩川流域の古墳文化



# ●東京の古墳の数＝約800か所

- ・古墳時代前期・……約10基
- ・古墳時代中期・……約50基
- ・古墳時代後期・終末期・…700基以上  
→約70%が横穴墓
- ・大部分が後期(6～7世紀)の古墳
- ・分布地域:武蔵野台地から多摩丘陵
- ・および東京低地周辺
- ・明治以前に失われた古墳も多い
- ・明治30年(1897) 東京帝大の坪井正五郎による芝丸山古墳群の調査



## ●世田谷区では？

### 世田谷区古墳数

●墳丘（マウンド）をもつ古墳…………約100基

・4世紀末～7世紀後半

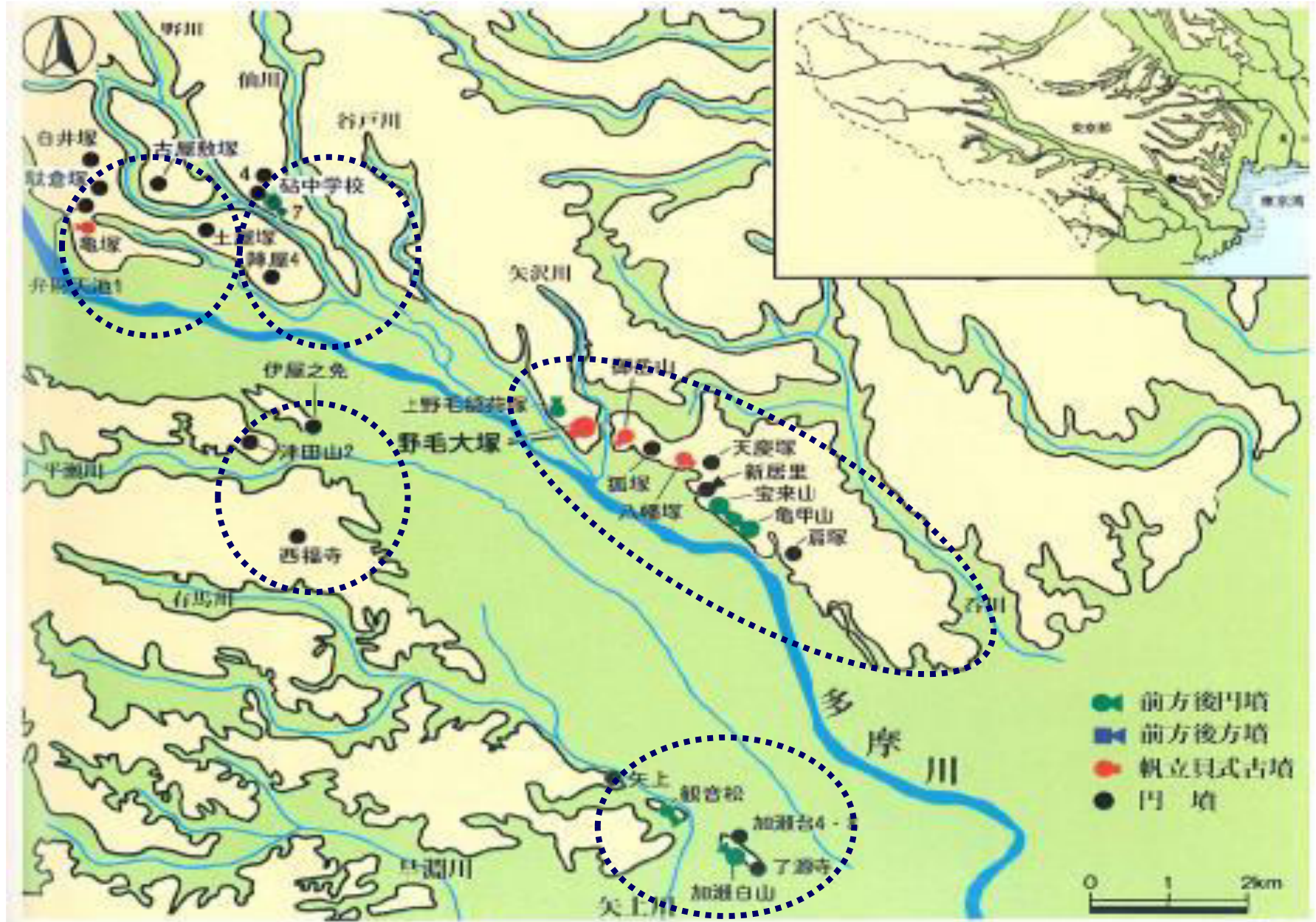
△崖に掘られた横穴墓…………約150基以上

・7世紀前葉～8世紀初め

**＊ おもに古墳時代後・終末期（6世紀～7世紀）  
に多く築造される**



# ●多摩川中・下流域の古墳分布





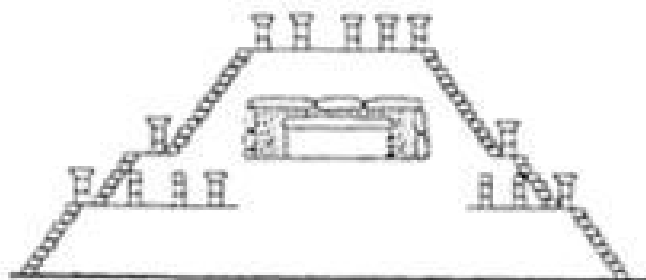
## ● 田園調布・野毛古墳群の分布



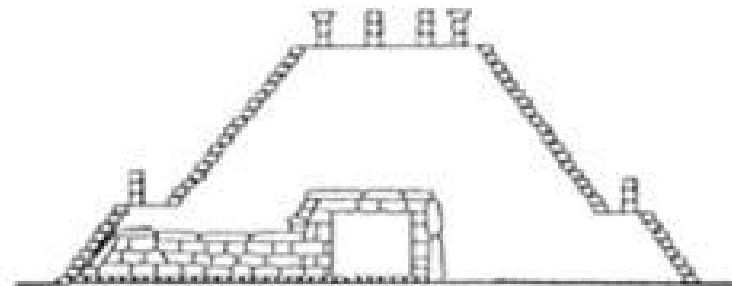


## ● 古墳時代の時期区分と埋葬施設

年代	3世紀	4世紀				5世紀					6世紀			7世紀			
区分	前期				中期					後期			終末期				
土器 編年	庄内式	布留式				TK 73	TK 218	TK 208	TK 23	TK 47	MT 15	TK 10	TK 43	TK 209	TK 217	TK 46	TK 48
飛鳥 編年													I	II	III	IV	V
東京 画期			1期	2期		3期			4期	5期							
埋葬 施設	竪穴系(石室・木棺・粘土槨)										横穴系(石室・横穴墓)						



縦穴式石室



横穴式石室



## ● 多摩川流域の古墳時代区分の指標

- 1 期 下流域両岸に大型前方後円墳が出現
- 2 期 中・下流域に帆立貝形古墳が築造。副葬遺物に畿内の影響が顕著。
- 3 期 竪穴系埋葬施設を有する円墳群（古式群集墳）の出現
- 4 期 横穴式石室古墳の出現
- 5 期 前方後円墳の消滅と群小古墳群（終末期群集墳）の出現



武蔵・上毛野の主要古墳と年代

年代	川崎・横浜地域	田園調布	野 毛	粘 土		北武蔵	上毛野
				和 泉	岩戸・猪方		
4世紀	白山 稲荷前 16号 観音松 虚空蔵山	扇塚 宝来山 亀甲山 西岡31号	上野毛 稲荷塚	粘中学校 7号			前橋八幡山 前橋天神山 浅間山 稲子塚 大鶴巻
	了願寺 1号 カネ塚 矢上 6号 西福寺 朝光寺原 1号 綱島 3号	西岡32号 丸山 赤坂	野毛大塚 天慶塚 八幡塚 御岳山 狐塚	4号 3号 喜多見 陣屋4号 下山1号 第六天塚 慶元寺1号 陣屋6号	駄倉塚 古屋敷塚 土屋塚 弁財天池 1号 2号 東塚 橋北塚 白井塚 経塚 松原東稲荷塚 綱山塚 兜塚	雷電山 公卿塚 埼玉稲荷山 埼玉二子山 丸墓山 埼玉二子山 埼玉將軍塚	別所茶臼山 お富士山 女体山 太田天神山 鶴山 前二子 中二子 後二子 綿貫 観音山
5世紀		浅間神社 西岡28号 多摩川台2号 多摩川台1号	野毛9号 野毛3号 野毛2号 尾山北原塚 スクモ塚 等々力根1号	8号 陣屋5号 陣屋2号 喜多見 稲荷塚 殿山1号 宮之原1号 殿山2号 陣屋14号 大蔵1号			
		庵谷 観音塚	野毛4号 野毛6号				
6世紀		多摩川台3号 多摩川台8号 浅間様					
7世紀						(※北武蔵・上毛野は主要古墳のみ)	

● たてあなけいまいそうしせつ もくたんかく  
縦穴系埋葬施設＝木炭槨・粘土槨・木棺

● れきかく  
縦穴系埋葬施設＝磯槨

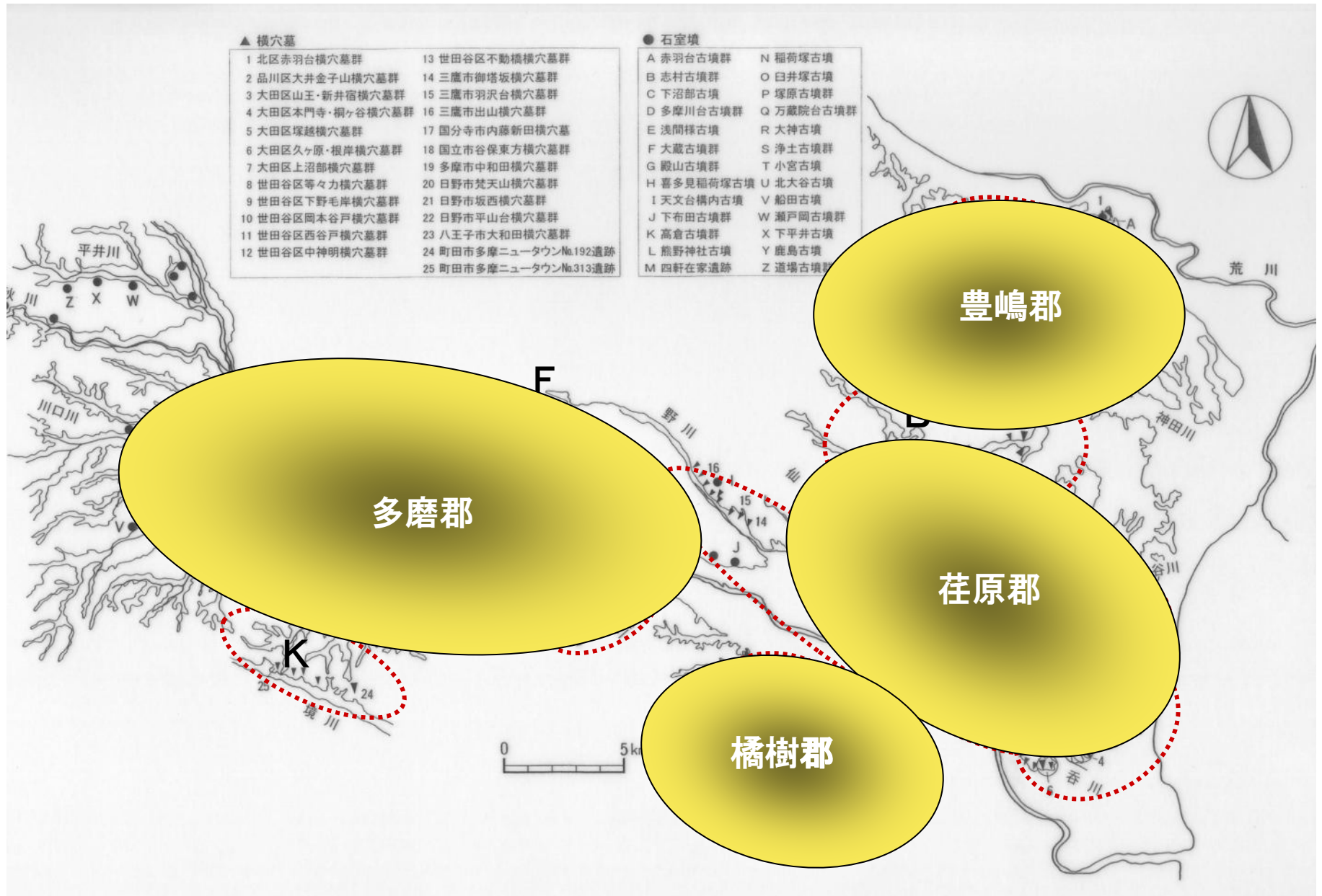
● よこあなけいまいしせつ  
横穴式石室

(寺田良喜 製作)

横穴墓がつくられた時期



# ●南武蔵の横穴墓分布域





# ● 横穴墓が造られた時代とは？

8 世紀			7 世紀			6 世紀		
710	708	701	672	663	645	630	607	603
都が平城に移る	和同開珎がつくられる	大宝律令が定められる	壬申の乱起こる	白村江の戦い日本敗れる	大化の改新が始まる	第1回遣唐使	法隆寺が建てられる	冠位十二階が定められる
								593
								聖徳太子が摂政になる
								587
								蘇我氏が滅ぼす
奈良時代			飛鳥時代					
古墳時代終末期						古墳時代後期		
高松塚古墳								
古墳が造られなくなる								



## Ⅱ 世田谷の横穴墓群



## ① 横穴墓調査・研究のあゆみ

- 1934(昭和9) 瀬田滝ヶ谷横穴墓群(2基)の調査
- 1936(昭和11) 下野毛岸(11基)・等々力原(2基)・等々力根(1基)横穴墓群が西岡秀雄により報告。
- 1957(昭和32) 成城上神明遺跡で横穴墓調査
- 1959(昭和34) 岡本町横穴墓が区史編さん事業で調査
- 1960～1965(昭和35～40) 等々力溪谷、瀬田町、大蔵団地、野毛町内等で横穴墓(8基)調査。
- 1967(昭和42) 東名高速道路建設に伴い、大蔵地区で西谷戸横穴墓群(6基)が発見、調査。



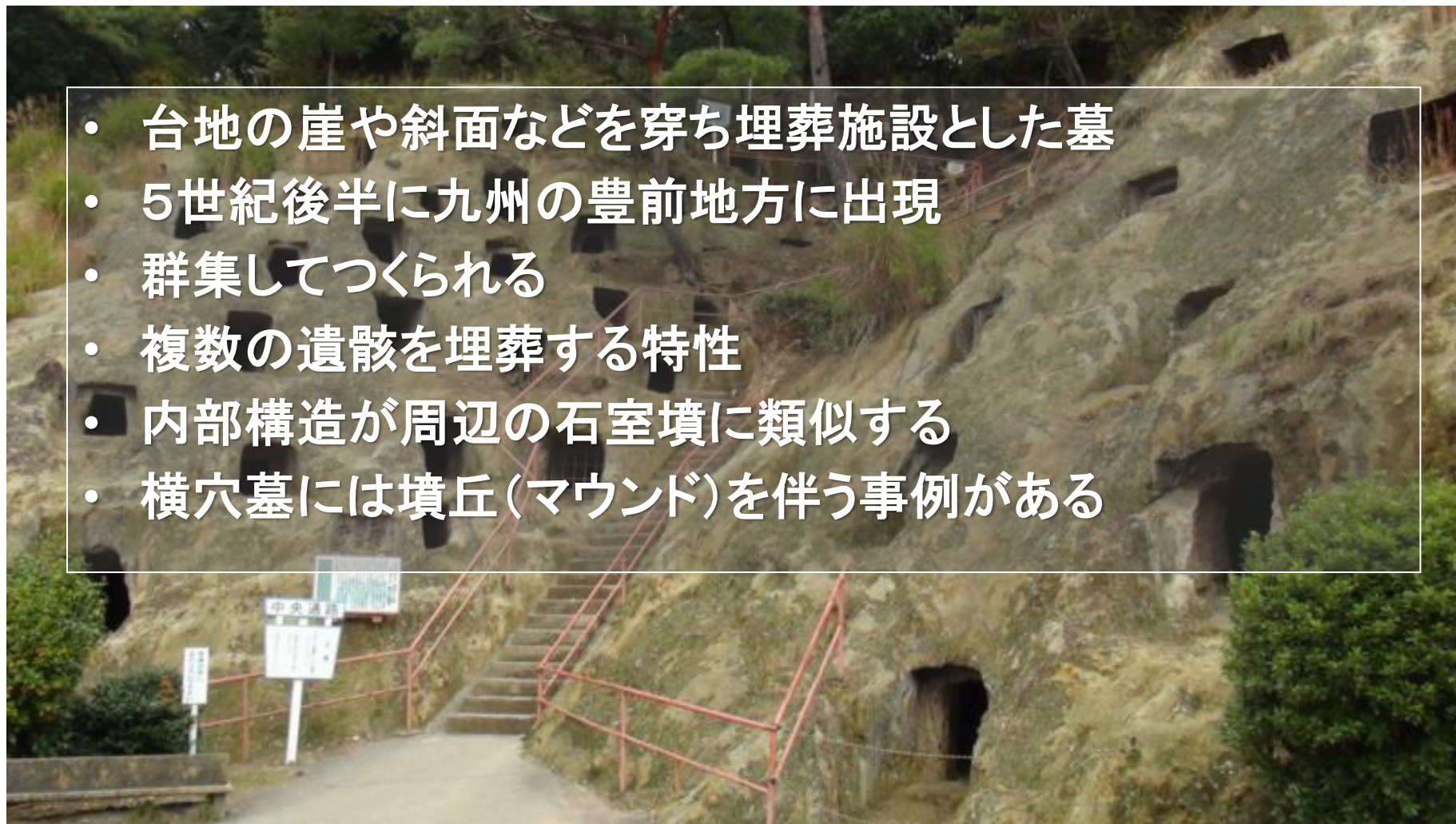
昭和30年～40年代にかけて多く発見、活発な調査が行われた



## ② 横穴墓(よこあなぼ)とは何か

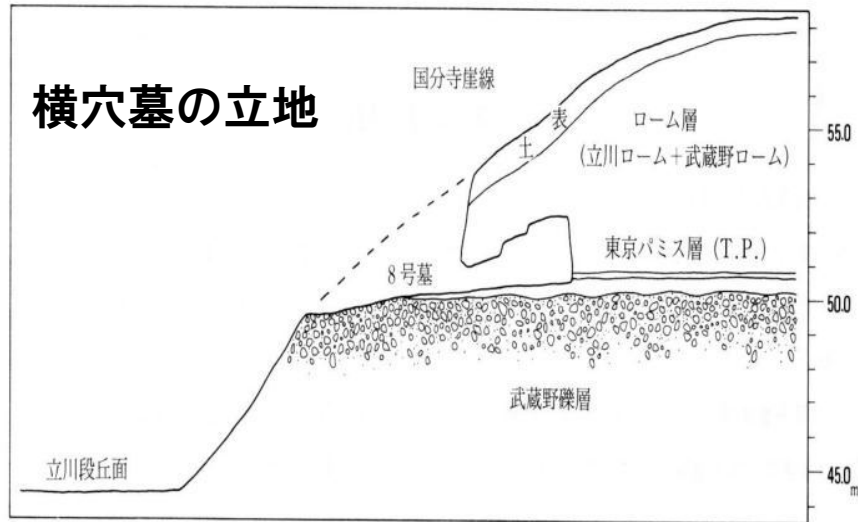
---

- 台地の崖や斜面などを穿ち埋葬施設とした墓
- 5世紀後半に九州の豊前地方に出現
- 群集してつくられる
- 複数の遺骸を埋葬する特性
- 内部構造が周辺の石室墳に類似する
- 横穴墓には墳丘(マウンド)を伴う事例がある





# ● 横穴墓の構造



＊多摩川流域では主にローム台地に掘削されるが、軟質泥岩(土丹)層に掘削するものもある。

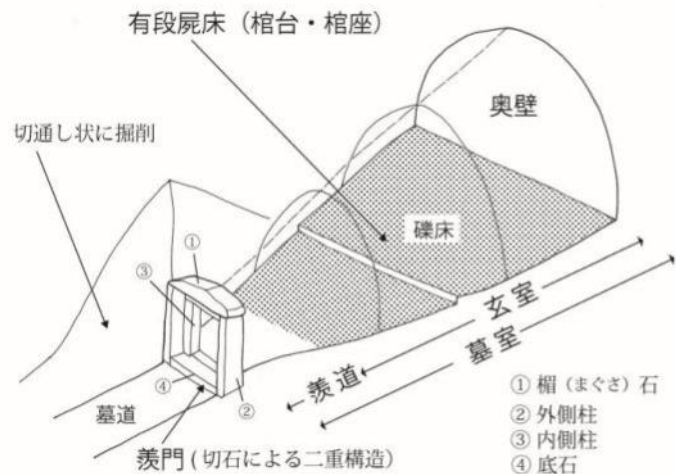
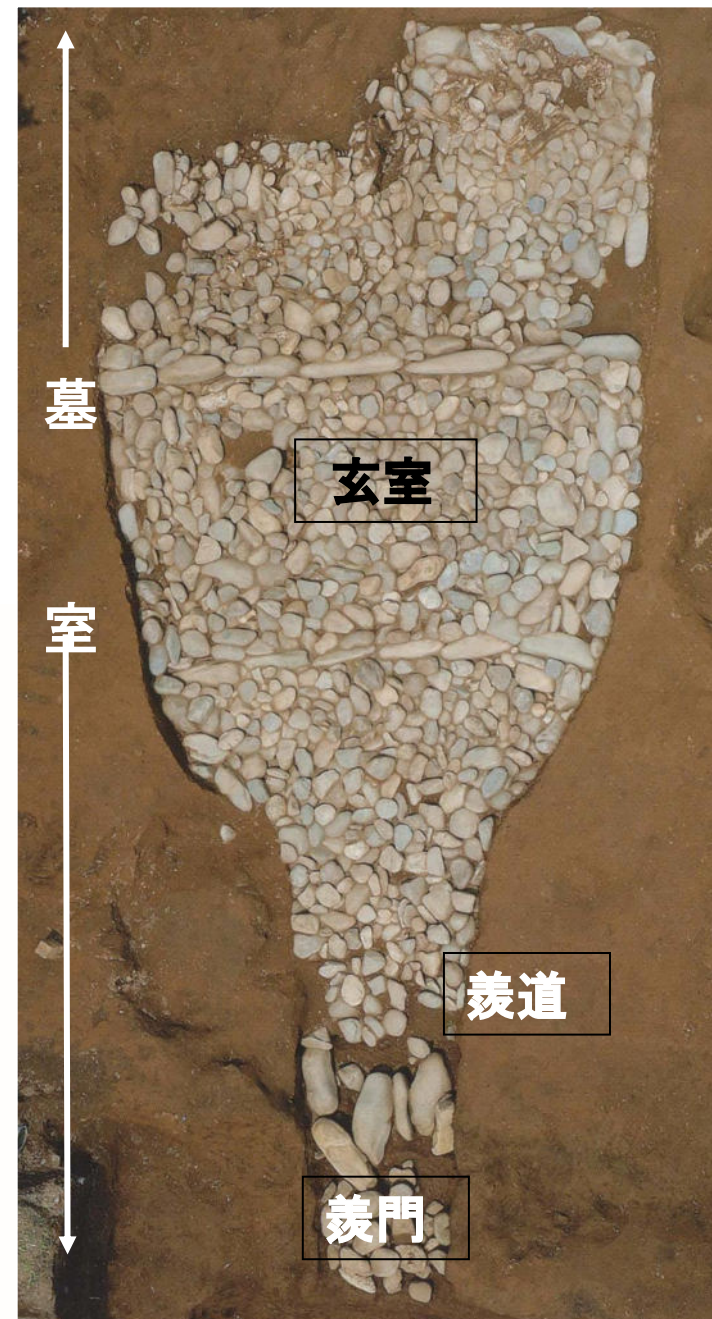
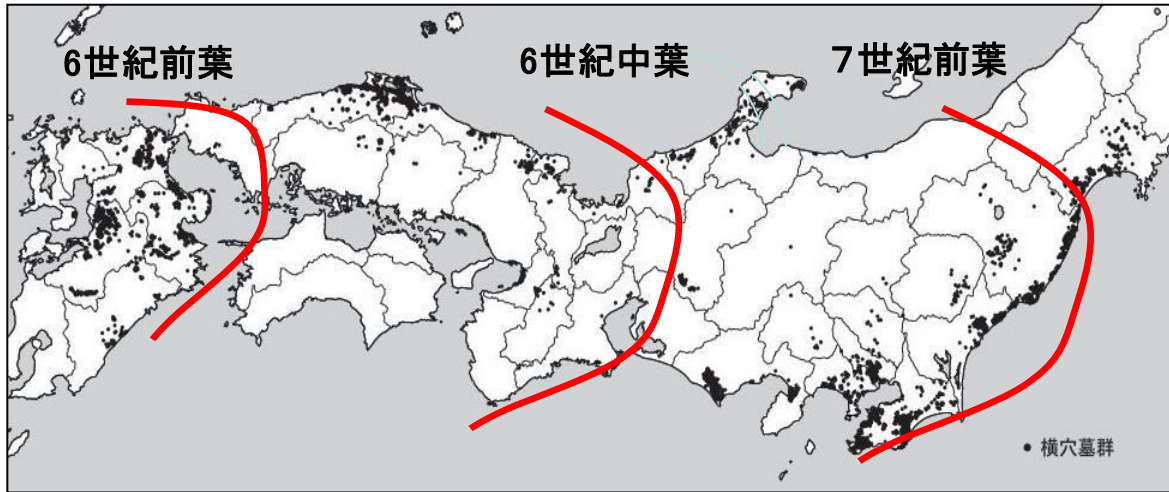


図 40 横穴墓の構造名称



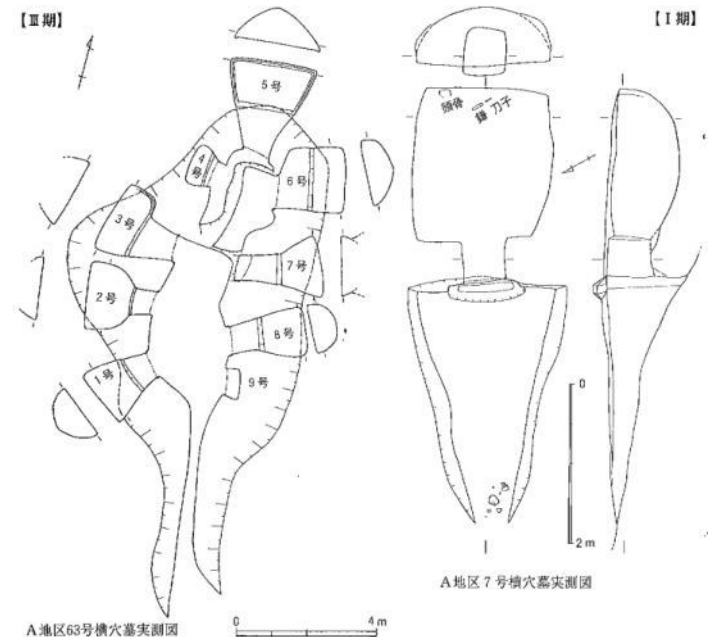


## ● 横穴墓の出現と伝播



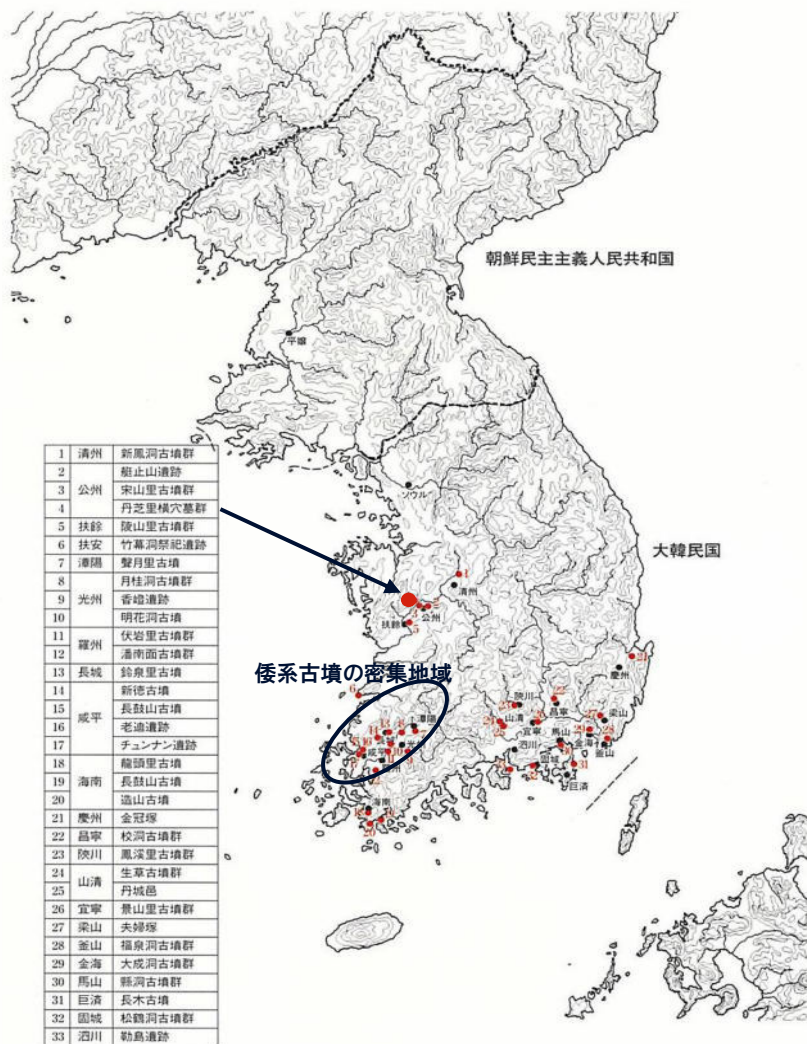
横穴墓は北九州（豊前）地方で、5世紀後半に発生し、山陰、畿内、北陸、東海地域を経て、東日本の太平洋沿岸に伝播した。北限は宮城県迫川流域に至る。その分布には偏在性が見られる。

福岡県竹並遺跡の横穴墓群





# ● 百済の横穴墓（韓国公州市丹芝里横穴墓群）



墓道と閉塞石



玄室

## 3号横穴墓

丘陵の斜面において、埋葬部に向かって入り口である墓道を、傾斜を持たせて掘り込み、板石によって閉じられた向こうに半円状の空間の玄室を持つ。

この構造は、北部九州における初期横穴墓に近似する。



遺物出土状況



初期横穴墓／大分県中津市上ノ原5号横穴墓



## ● 世田谷区内の古墳時代の遺跡分布

『世田谷区郷土資料館』2024 を改編



・区内の古墳や横穴墓は多摩川本・支流域に展開する。

・とくに、国分寺崖線沿いの野川流域や仙川流域には、横穴墓群が多く形成されている。

・中流域の殿山横穴墓群は、多摩川左岸流域における最古の横穴墓群といえる。

・同時期の集落は、崖線下の微高地上に存在する可能性がたかく、殿山横穴墓群周辺では、下野田遺跡が有力な候補である。



### ③ 世田谷区内の横穴墓群



#### 殿山横穴墓群(大蔵五丁目20番地)

**立地:**野川流域の標高20～22mの国分寺崖線

**規模:**約20基

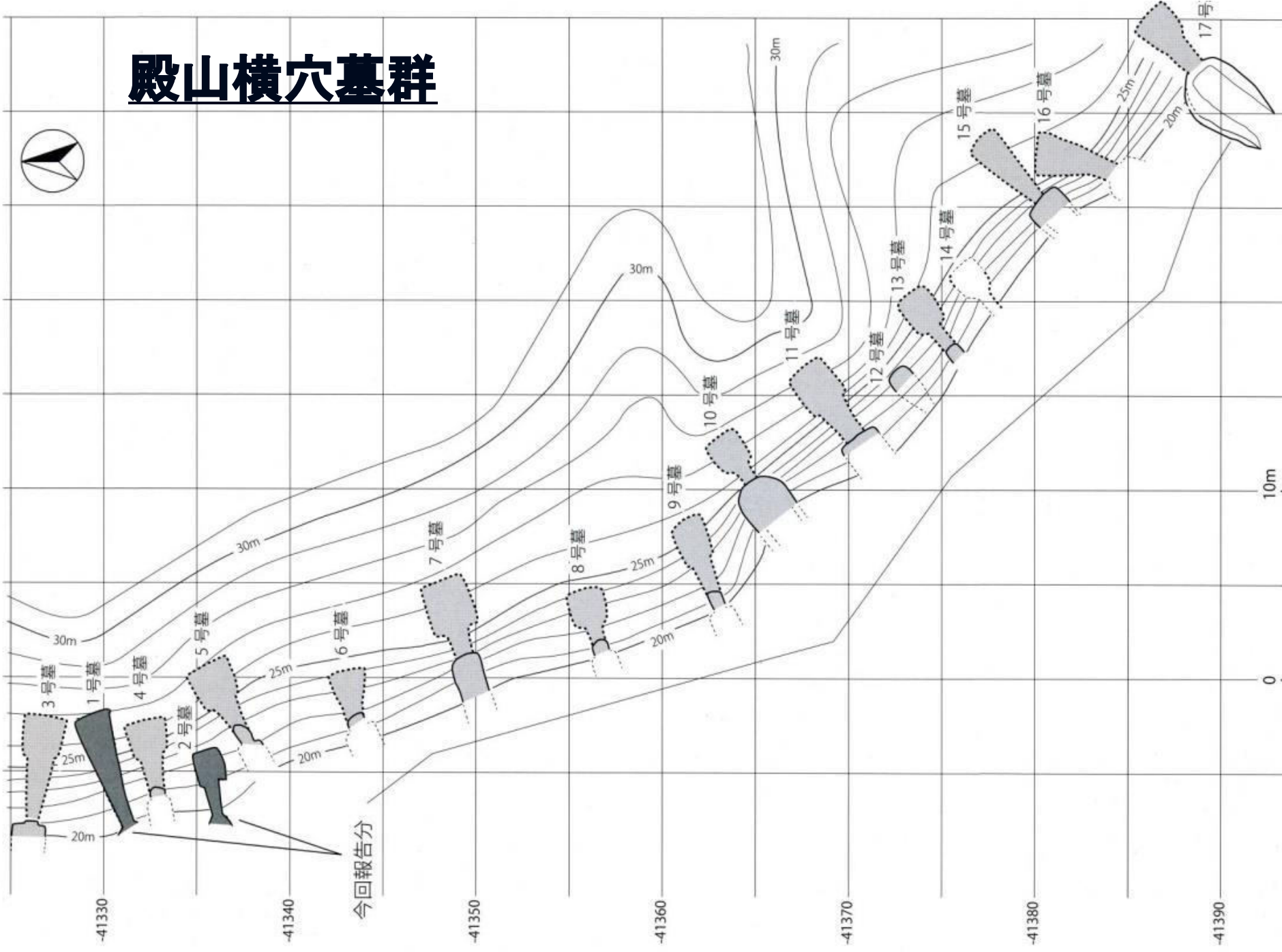
**構成:**全体で4～5グループ

**墓室:**矩形・逆台形・撥形等で多様なあり方

**時期:**6世紀末～7世紀中葉

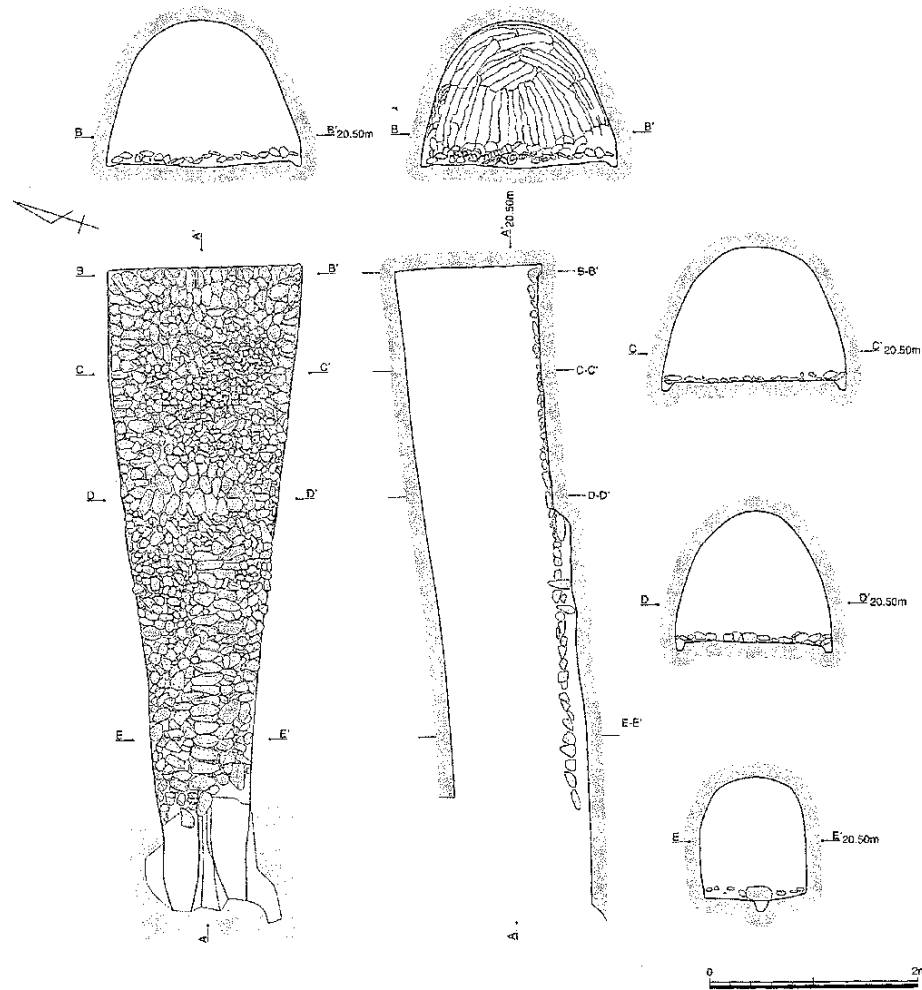


# 殿山横穴墓群





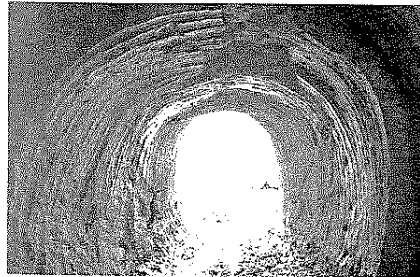
# 殿山横穴墓群



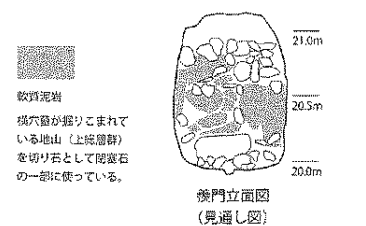
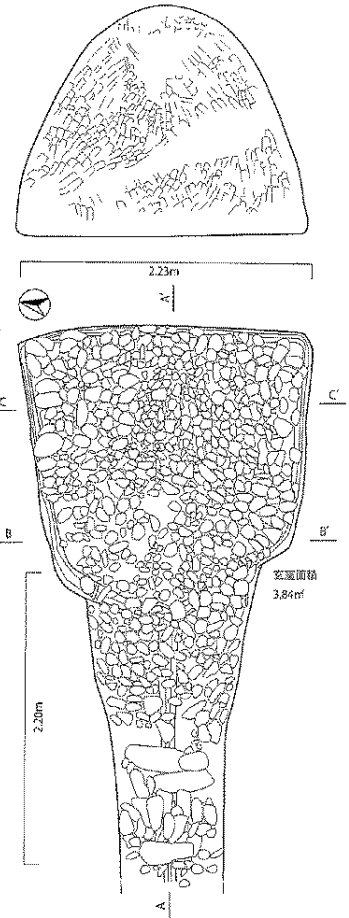
奥壁に残る工具痕



側壁に残る肋骨状の工具痕



側壁壁面に残る肋骨状の工具痕



後門立面図  
(見通し図)

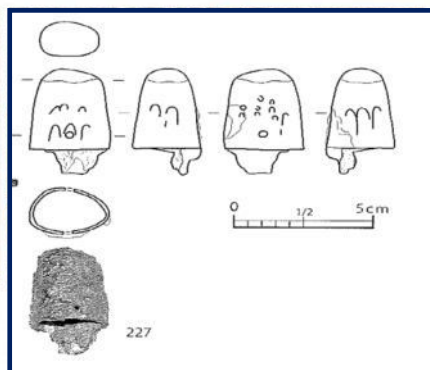
軟質泥岩

横穴墓が掘りこまれている地山(上院層群)を切り石として附置石の一部に使っている。



上 1号墓 全長：6.1m  
右 4号墓 全長：4.2m





4号横穴墓 須恵器提瓶

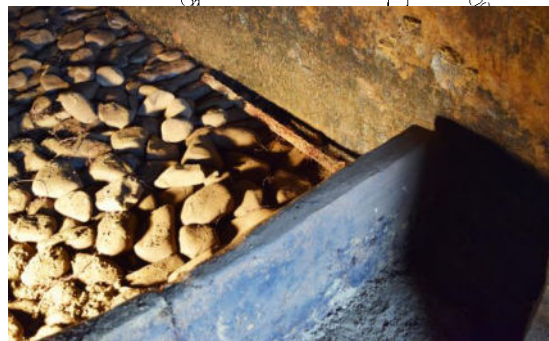
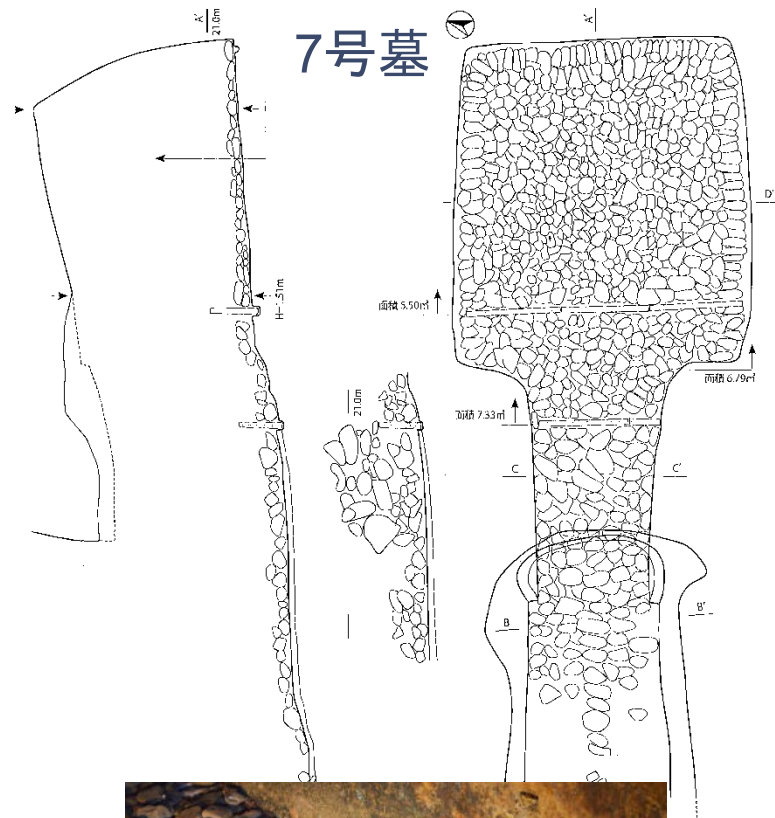


17号横穴墓 須恵器長頸瓶・土師器杯



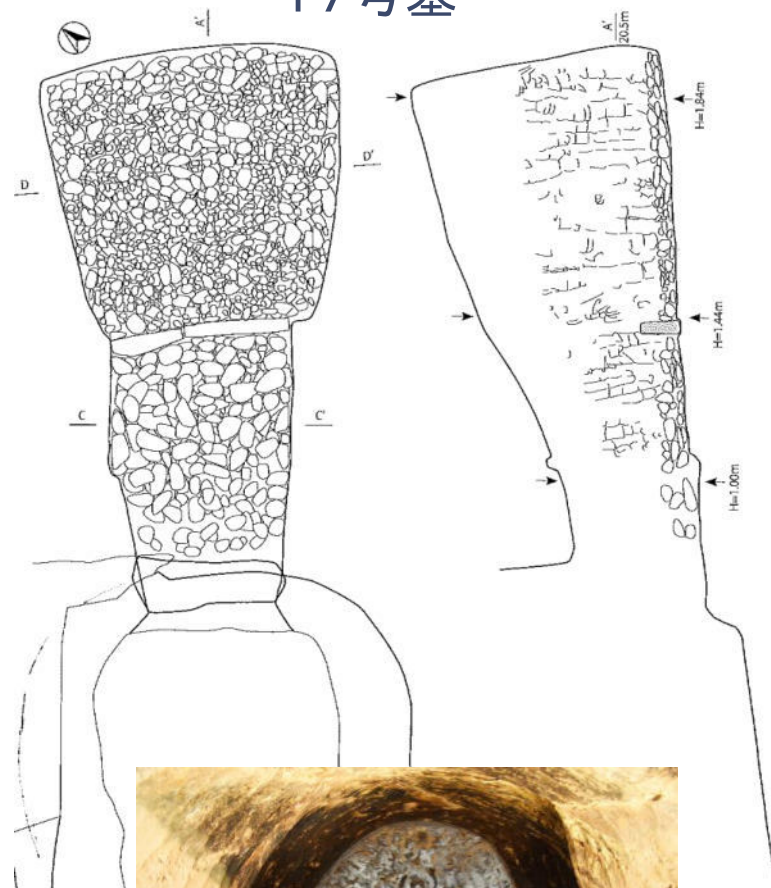


# ● 特徴的な内部構造



- ・墓室内部の区画施設: **石障**  
板状の石材を立てて玄室を区画する

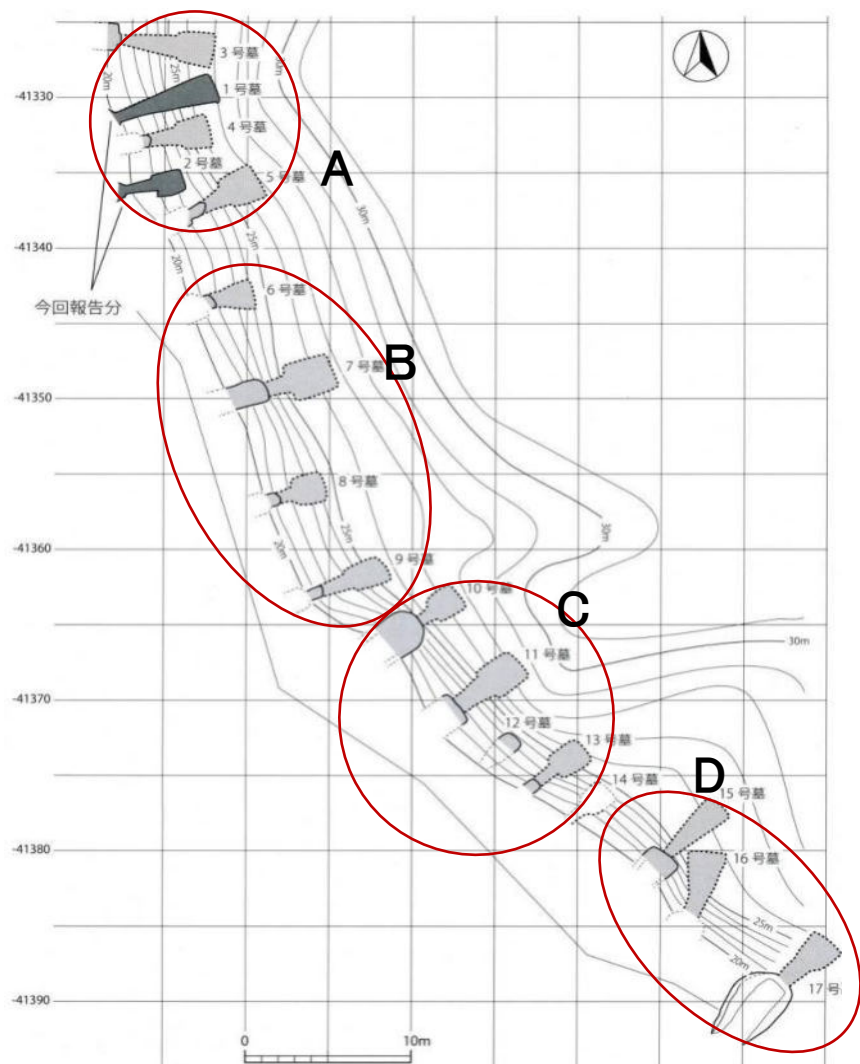
## 17号墓



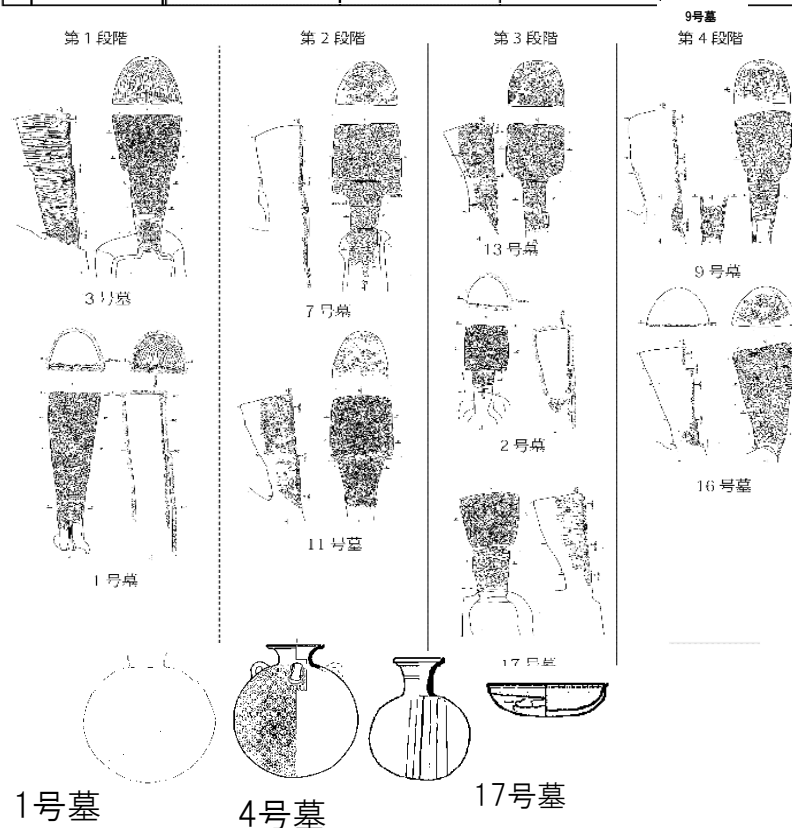
- ・墓室内部の区画施設: **界石**  
柱状の石材を横に並べ、羨道と玄室を区分する



# ● 殿山横穴墓群の構造変遷



		墓室構造の指標			
		第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
		600年			
墓室の特徴	斜壁無和・透形平面				
	有油炬形平面				
	主軸排水溝				
	界石・石障区分				
	有段屍床				
	短椀縮小				
単位グループ	A 群	1号墓 3号墓	4号墓 5号墓	2号墓	
	B 群		7号墓	8号墓	9号墓
	C 群		11号墓	13号墓 10号墓	6号墓
	D 群			17号墓	6号墓 6号墓



## 殿山横穴墓群の変遷



# 西谷戸横穴墓群(岡本三丁目26番他)

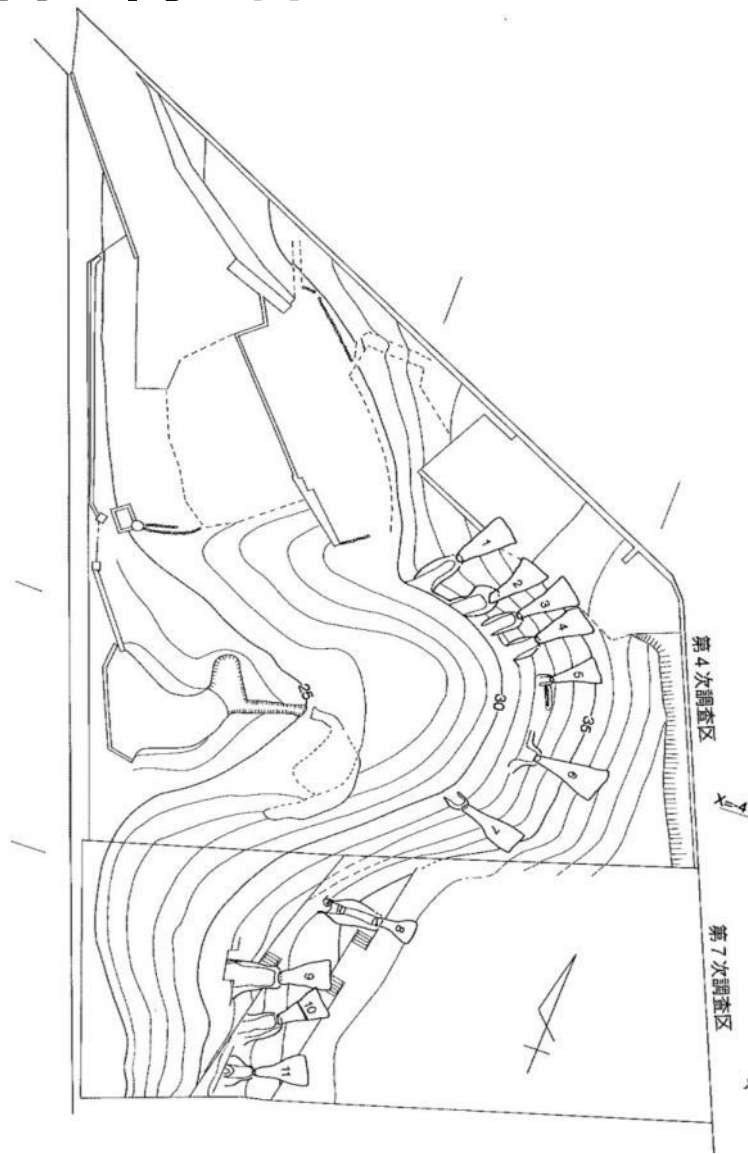
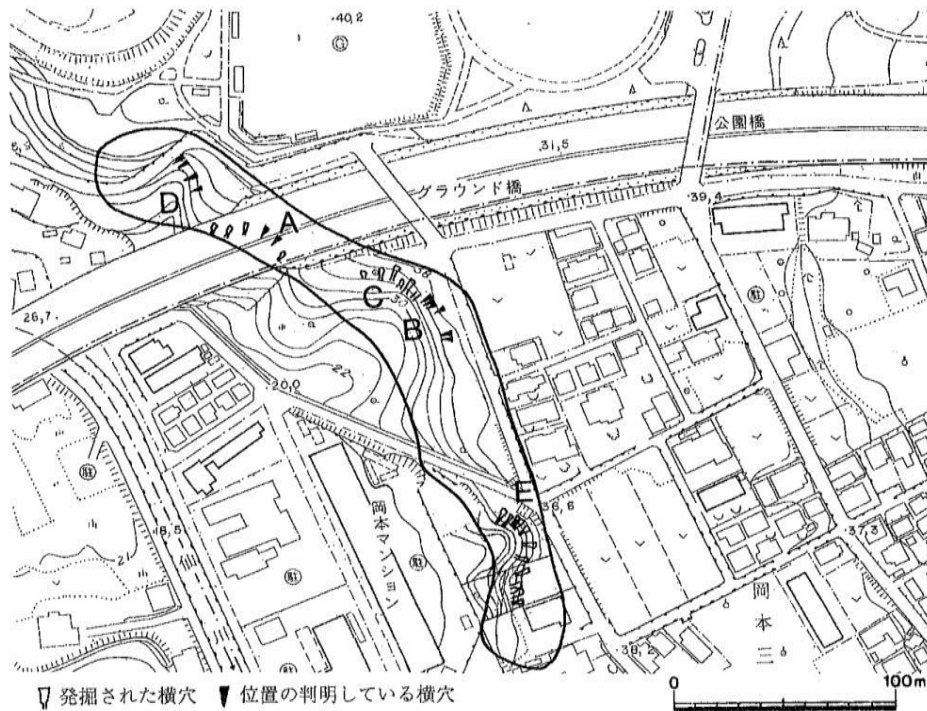
**立地:**仙川流域の標高30～34mの南西向き斜面

**規模:**約33基

**構成:**全体で5支群

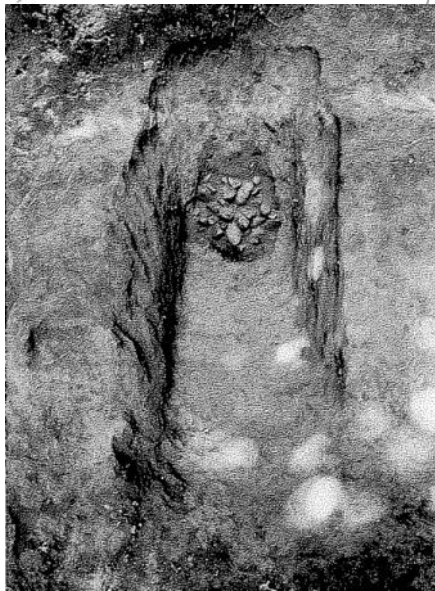
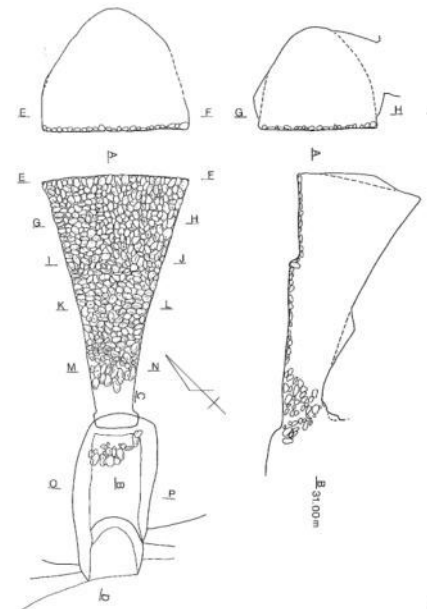
**墓室:**無袖撥形・徳利半裁形など

**時期:**7世紀中葉～後葉

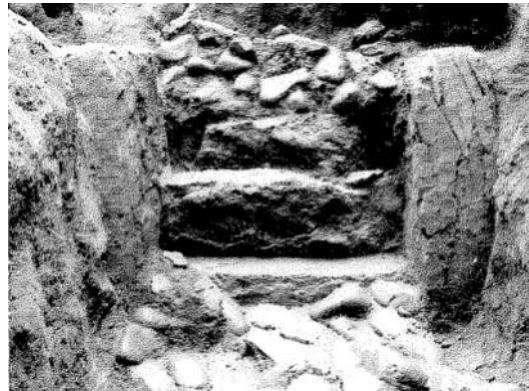
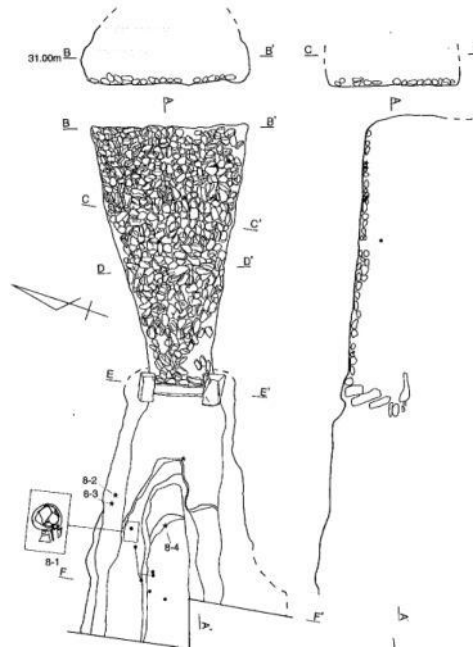




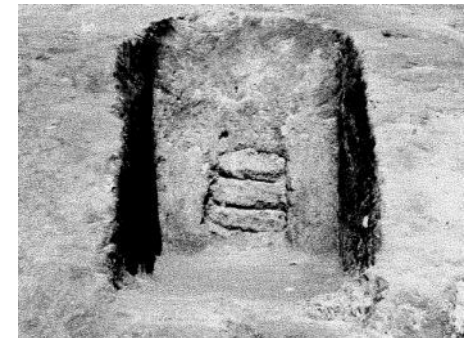
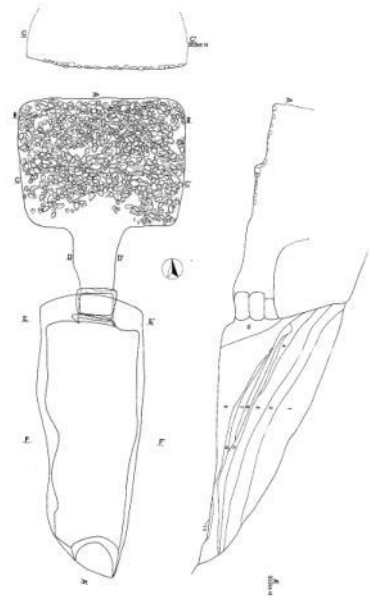
## ● 横穴墓の閉塞部の特徴



E群 3号墓



E群 9号墓



日大調査4号墓



# 不動橋横穴墓群（世田谷区成城三丁目）

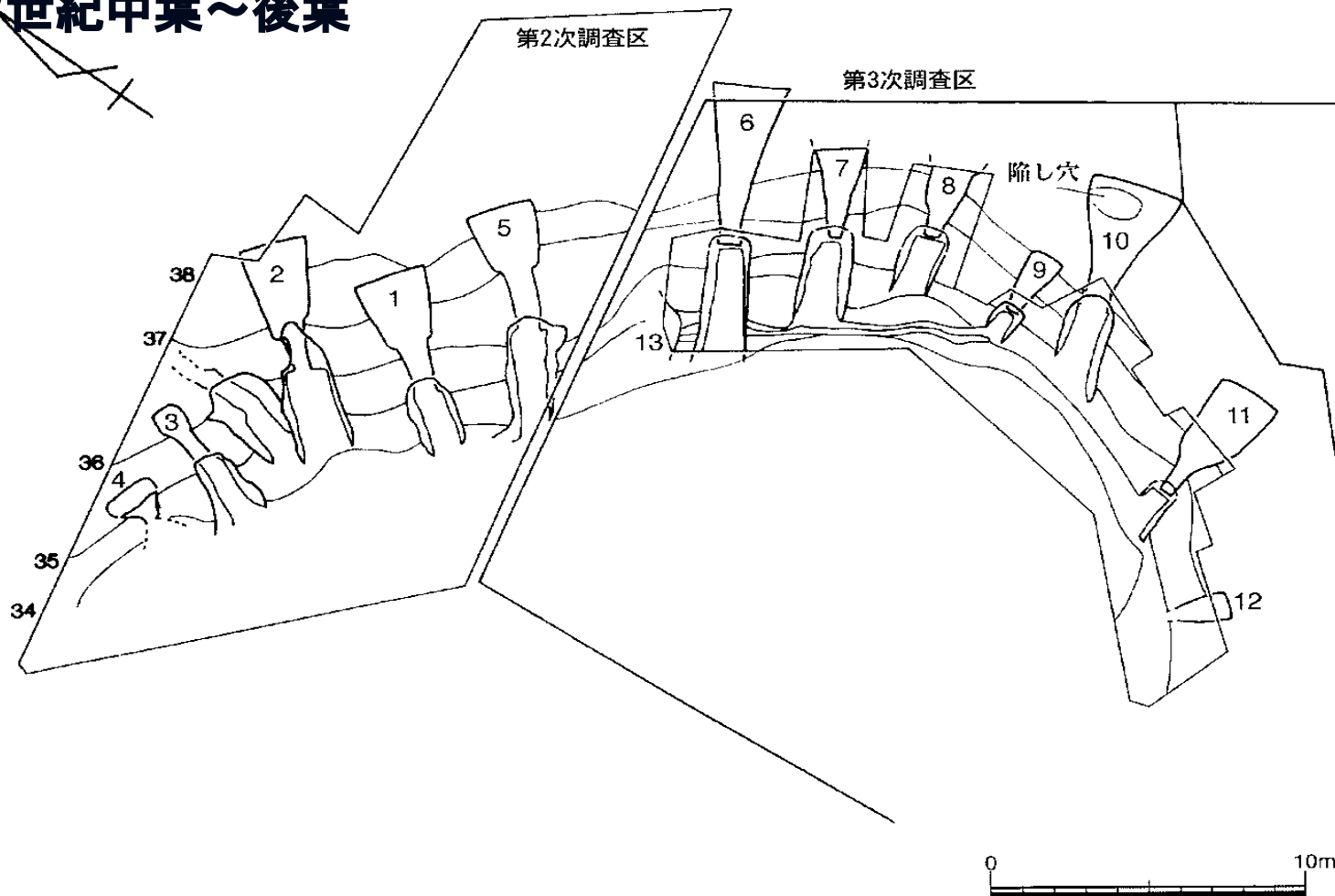
**立地:**野川流域の標高34～36mの国分寺崖線南西斜面

**規模:**15基

**構成:**2～3グループ

**墓室:**逆台形・無袖撥形・徳利半裁形など

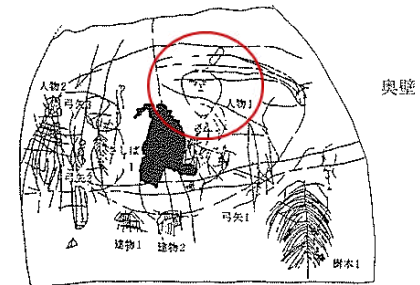
**時期:**7世紀中葉～後葉



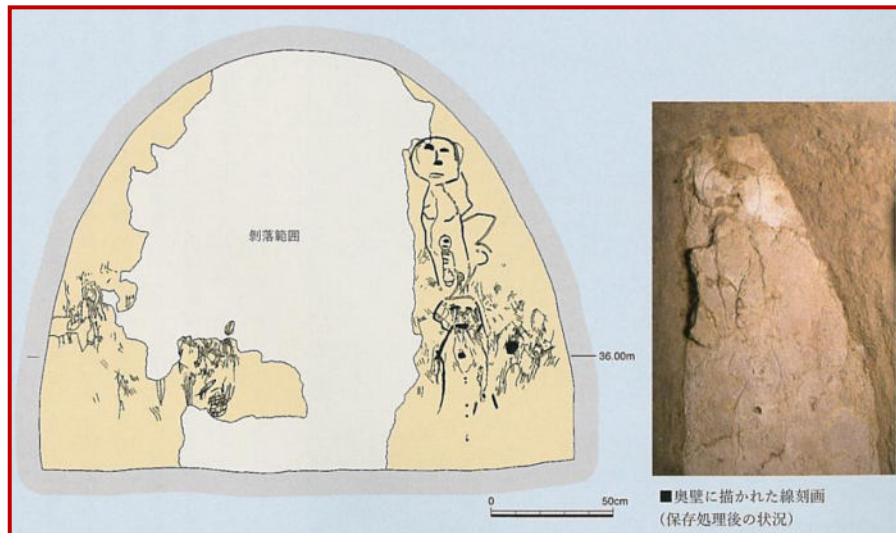


# ●横穴墓の線刻集成 (柏木2013)

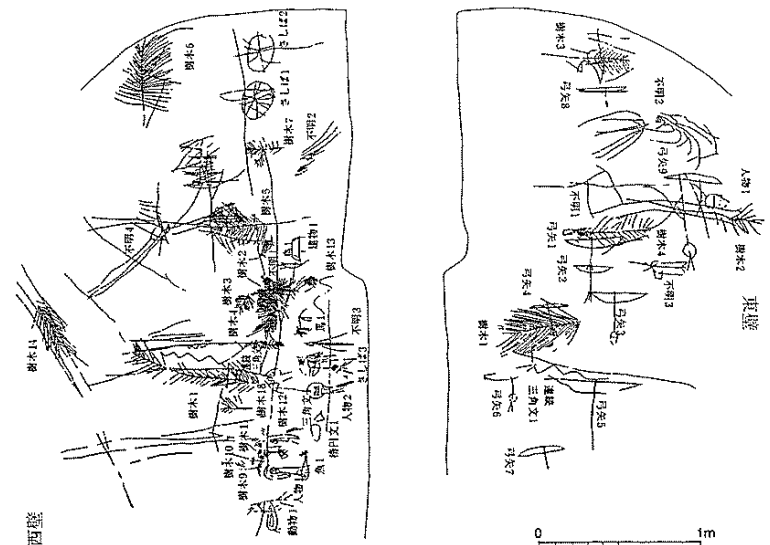
## 川崎市王禅寺白山1号墓の線刻



## 川崎市早野横穴墓の線刻画

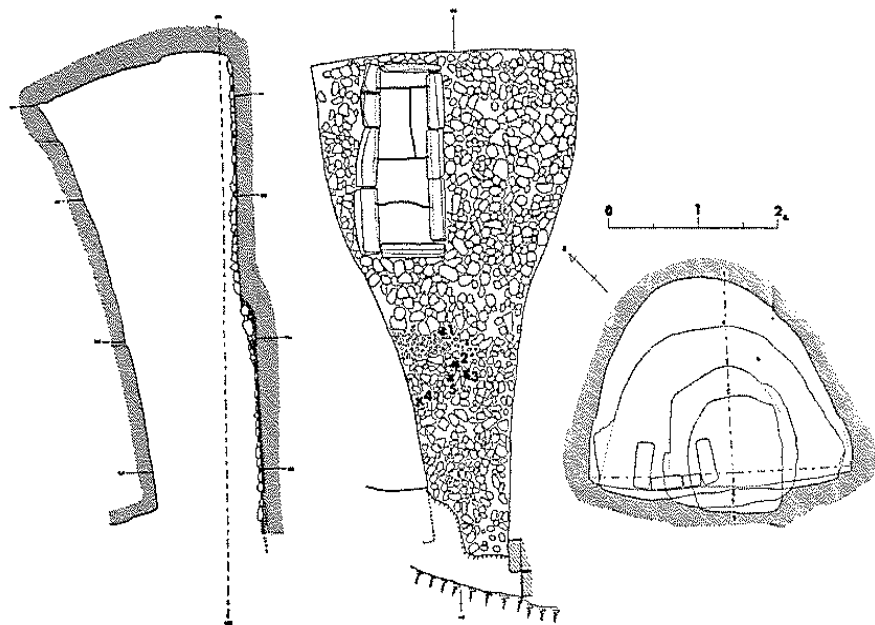


## 11号墓の線刻画

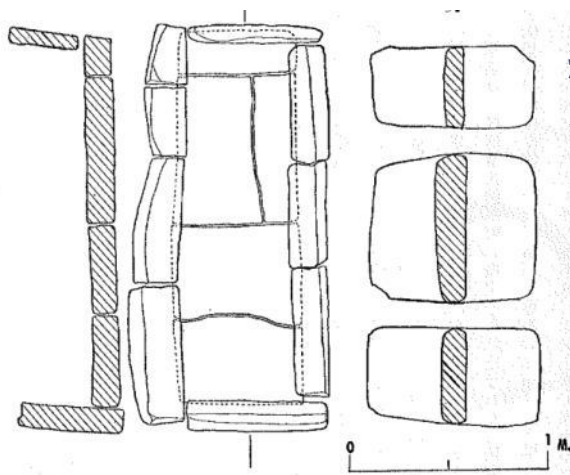
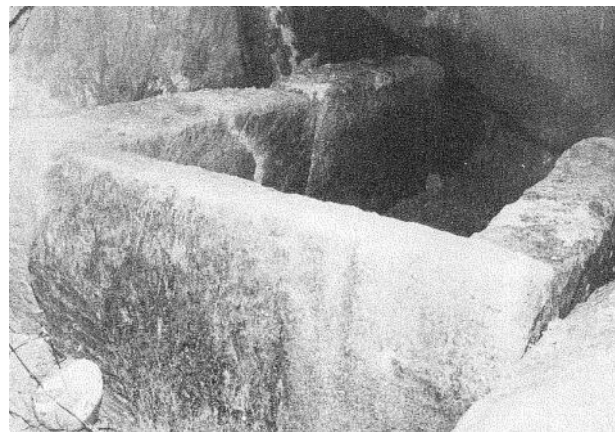




# 等々力溪谷横穴墓群(等々力一丁目22番)



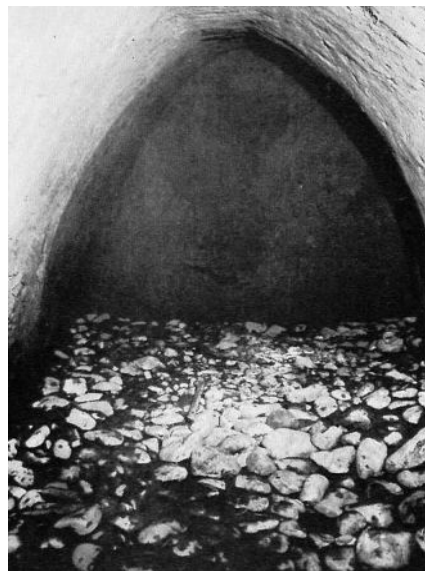
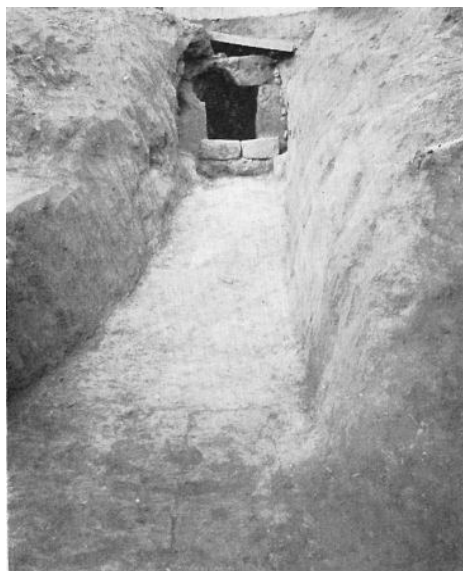
2号墓 全長:5.45m



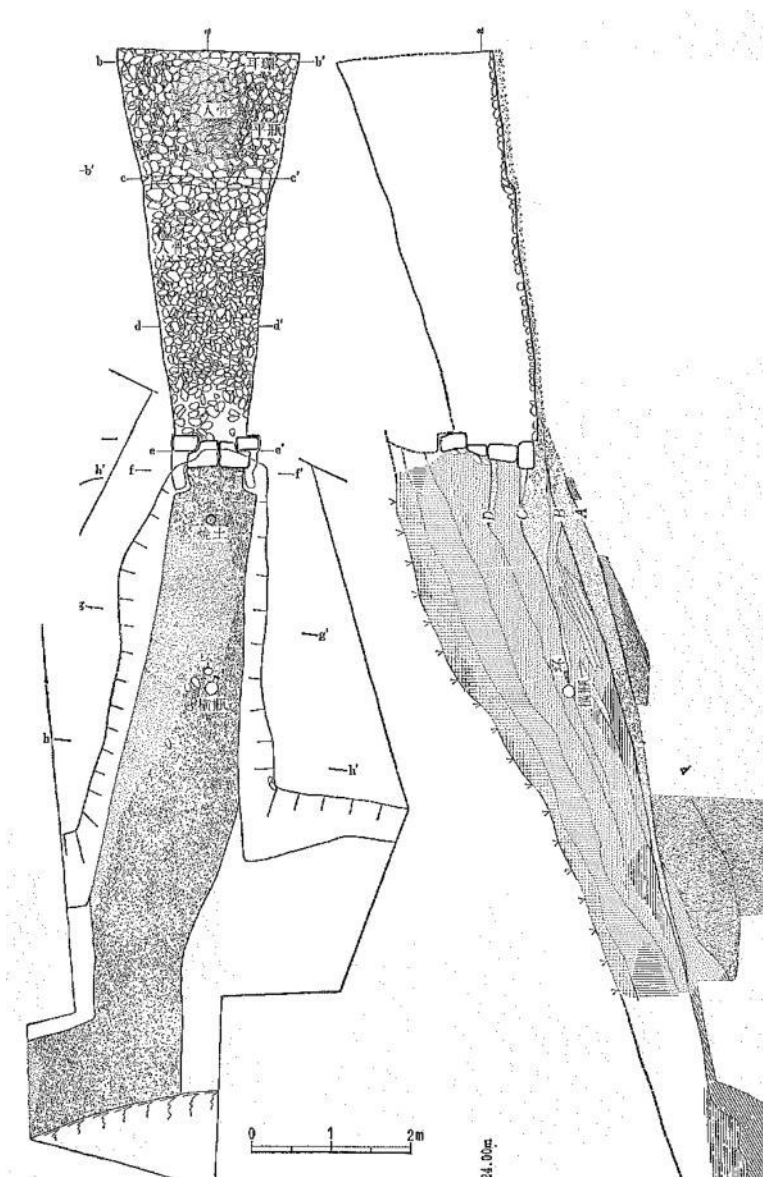
組合式石棺を内蔵  
 石材は軟質泥岩(凝灰岩)  
 多摩川左岸では大田区久ヶ原  
 11号横穴墓と2例のみ。



# 等々力溪谷横穴墓群



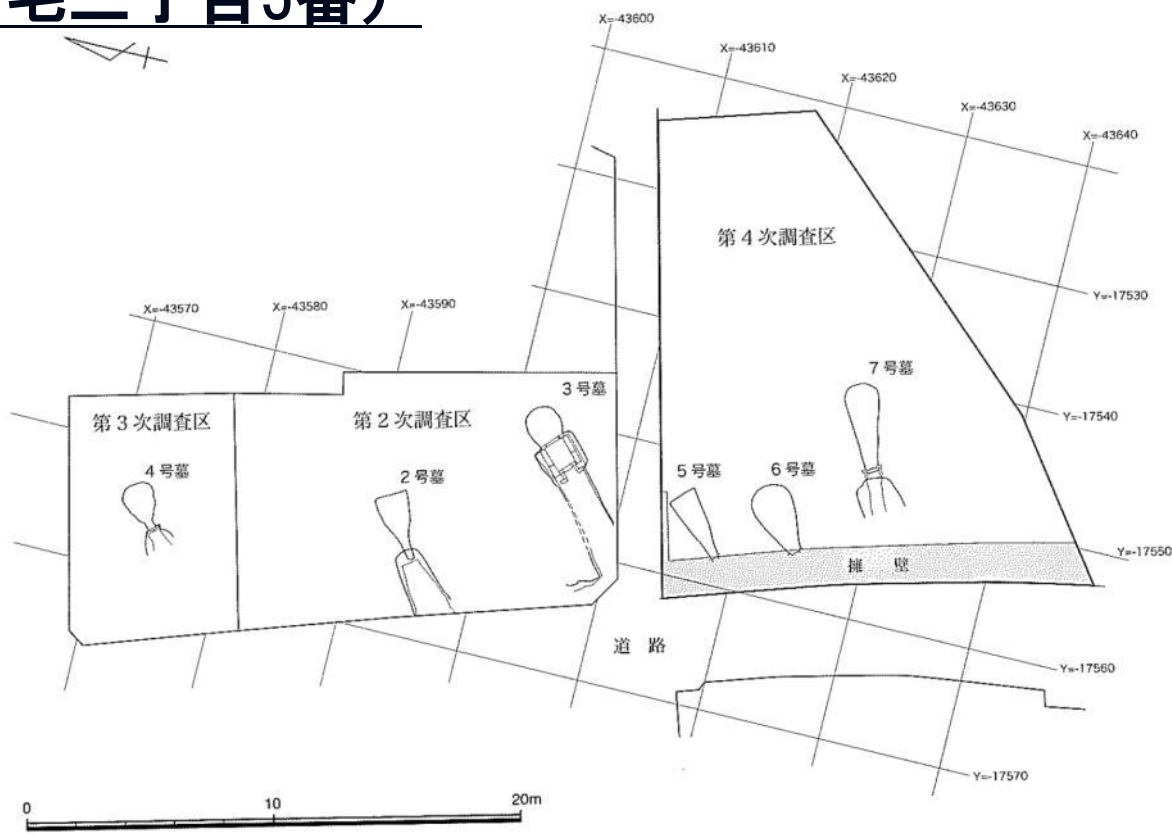
等々力溪谷横穴墓出土土器



3号墓 全長:4.9m 墓道:7m以上

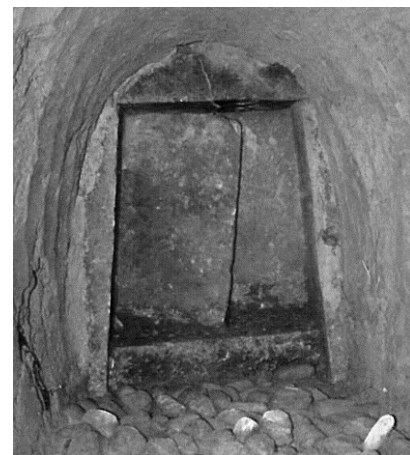


# 下野毛岸横穴墓群（野毛三丁目5番）



3号墓:複室構造 石室＋横穴

7号墓:羨門切石構造＋前庭部  
石積み





# ●南武蔵の石室墳・横穴墓の分布

## ▼横穴墓一覧

- A 赤羽台横穴墓群
- B 山王・新井宿横穴墓群
- C 本門寺・桐ヶ谷横穴墓群
- D 塚越横穴墓群
- E 久が原・根岸横穴墓群
- F 上沼部横穴墓群
- G 等々力横穴墓群
- H 下野毛岸横穴墓群
- I 岡本谷戸横穴墓群
- J 西谷戸横穴墓群
- K 中神明横穴墓群
- L 不動横穴墓群
- M 大蔵団地横穴墓群
- N 野毛橋横穴墓群
- O 御塔坂横穴墓群
- P 羽沢台横穴墓群
- Q 出山横穴墓群
- R 内藤新田横穴墓
- S 谷保東方横穴墓群
- T 中和田横穴墓群
- U 梵天山横穴墓群
- V 坂西横穴墓群
- W 平山台横穴墓群
- X 大和田横穴墓群
- Y 多摩NTNo.192遺跡
- Z 多摩NTNo.313遺跡

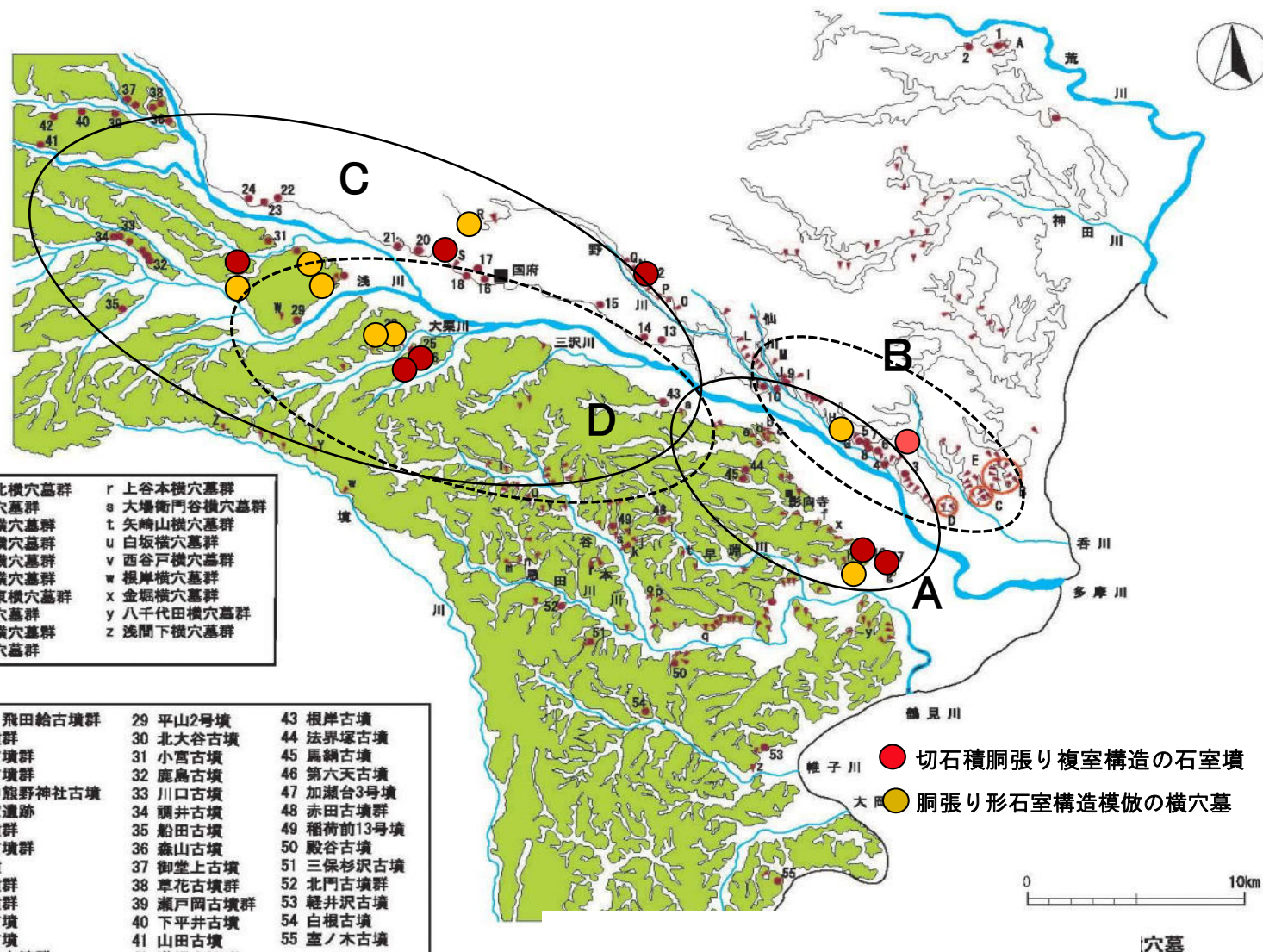
- a 長者穴横穴墓群
- b 浄元寺裏横穴墓群
- c 久地西前田横穴墓群
- d 平瀬川隣道際横穴墓
- e 下作延横穴墓群
- f 蟹ヶ谷横穴墓群
- g 夢見ヶ崎横穴墓

- h 諏訪下北横穴墓群
- i 赤田横穴墓群
- j 大黒谷横穴墓群
- k 市ヶ尾横穴墓群
- l 能ヶ谷横穴墓群
- m 熊ヶ谷横穴墓群
- n 熊ヶ谷東横穴墓群
- o 下根横穴墓群
- p 天ヶ谷横穴墓群
- q 東方横穴墓群

- r 上谷本横穴墓群
- s 大場衙門谷横穴墓群
- t 矢崎山横穴墓群
- u 白坂横穴墓群
- v 西谷戸横穴墓群
- w 根岸横穴墓群
- x 金堀横穴墓群
- y 八千代田横穴墓群
- z 浅間下横穴墓群

## ●古墳(石室)一覧

- |             |               |           |            |
|-------------|---------------|-----------|------------|
| 1 赤羽台古墳群    | 15 白糸台・飛田給古墳群 | 29 平山2号墳  | 43 根岸古墳    |
| 2 志村古墳群     | 16 高倉古墳群      | 30 北大谷古墳  | 44 法界塚古墳   |
| 3 下沼部古墳     | 17 御嶽塚古墳群     | 31 小宮古墳   | 45 馬朝古墳    |
| 4 多摩川台古墳群   | 18 下谷保古墳群     | 32 鹿島古墳   | 46 第六天古墳   |
| 5 西岡22号墳    | 19 武蔵府中熊野神社古墳 | 33 川口古墳   | 47 加瀬台3号墳  |
| 6 観音塚古墳     | 20 四軒在家遺跡     | 34 調井古墳   | 48 赤田古墳群   |
| 7 西岡28号墳    | 21 青柳古墳群      | 35 船田古墳   | 49 稻荷前13号墳 |
| 8 浅間様古墳     | 22 経塚下古墳群     | 36 森山古墳   | 50 殿谷古墳    |
| 9 大蔵古墳群     | 23 大神古墳       | 37 御堂上古墳  | 51 三保杉沢古墳  |
| 10 殿山古墳群    | 24 浄土古墳群      | 38 草花古墳群  | 52 北門古墳群   |
| 11 喜多見稻荷塚古墳 | 25 塚原古墳群      | 39 瀬戸岡古墳群 | 53 軽井沢古墳   |
| 12 天文台構内古墳  | 26 稻荷塚古墳      | 40 下平井古墳  | 54 白根古墳    |
| 13 下布田古墳群   | 27 臼井塚古墳      | 41 山田古墳   | 55 室ノ木古墳   |
| 14 上布田古墳群   | 28 万蔵院台古墳群    | 42 道場古墳群  |            |



(松崎2010 a を元に作成) (1/300,000)

穴墓



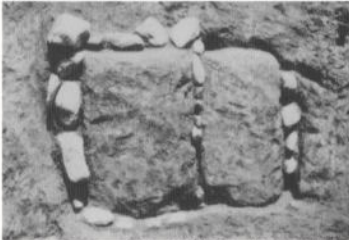
## ● 横穴墓の閉塞施設



①切石組みによる羨門・切石閉塞  
：久ヶ原グリーンハイツ 6 号墓



②切石組みによる羨門・切石閉塞  
：山王・新井宿 42 号墓



③加工ローム塊（縦積み）・河原石閉塞  
：世田谷区中神明 3 号墓



④切石（縦積み）・河原石による閉塞  
：世田谷区下野毛岸 7 号墓



⑤切石（横積み）・河原石による閉塞  
：世田谷区殿山 11 号墓



⑥ローム塊による閉塞  
：大田区山王・新井宿 26 号墓



⑦河原石組みによる羨門・河原石閉塞  
：三鷹市出山 8 号墓



⑧河原石による閉塞  
：多摩ニュータウン№192 遺跡 3 号墓

・ 横穴墓の閉塞には切石や河原石を使用する。多摩川下流域では泥岩を加工した切石組みの羨門をもつ。ローム塊を切石状に加工した閉塞材もある。  
👉 荏原郡の特徴

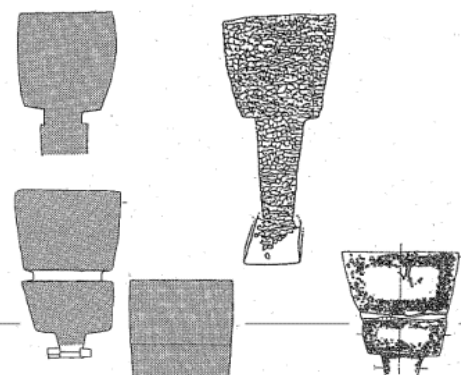
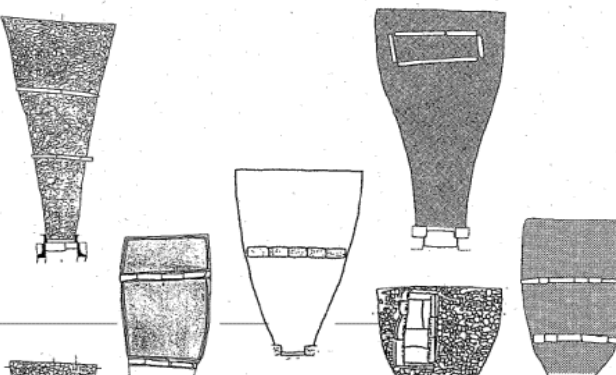
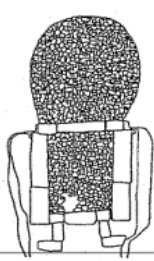
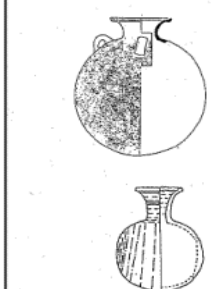
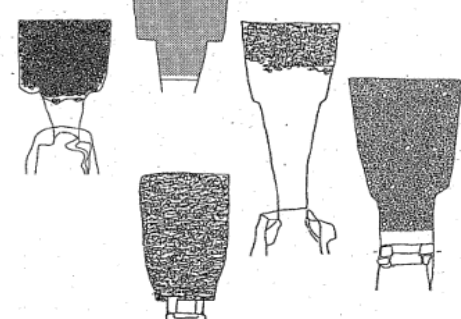
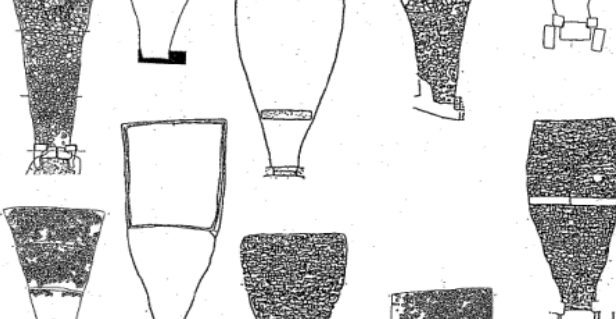


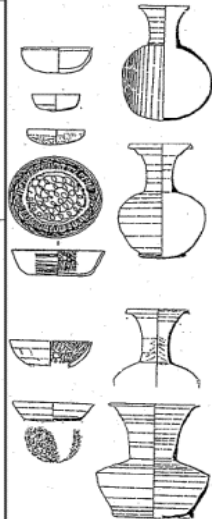
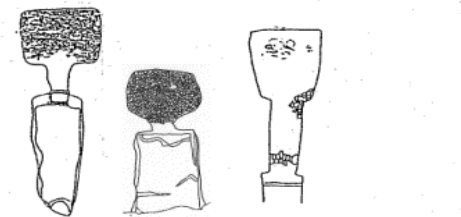


・ 中流域では切石と河原石を併用する閉塞がみられる。  
👉 多磨郡と荏原郡の境界

・ 多摩川上流域では河原石積みの閉塞が多い。石室墳も河原石積み。

・ 多摩丘陵や境川流域ではおもに河原石を使用する。  
👉 多磨郡の特徴



# ● 荏原郡域の横穴墓の変遷

形態 時期	A 型墓室（有袖形）	B 型墓室（無袖形）	C 型墓室（胴張り形）	出土土器の区分
I 期				
II 期				D 型墓室 (不整形) E 型墓室 (改葬墓)
				
III 期				

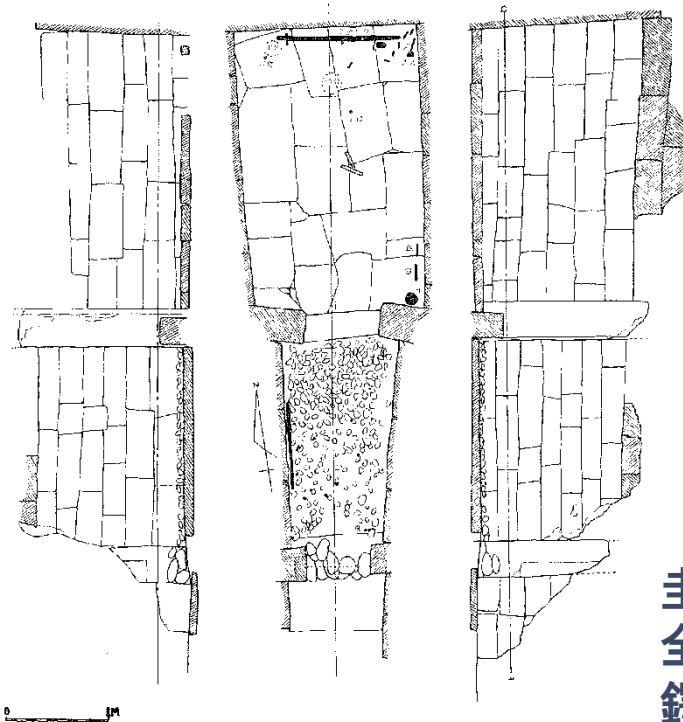
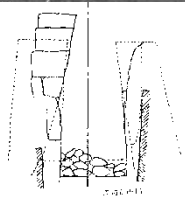
0 2m



# Ⅲ 横穴墓をのこした人々

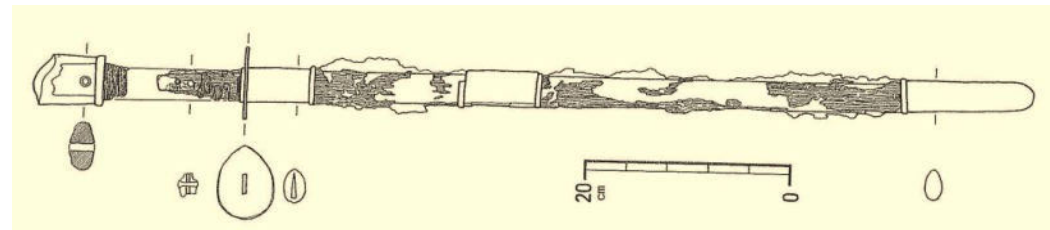


## ● 世田谷区 喜多見稻荷塚古墳と副葬品



圭頭大刀  
全長：約80cm 金具はすべて金銅製、  
鰐は倒卵形で板鰐。柄頭は圭頭

切石積み横穴式石室(全長:6.0m)  
玄室床面にも切石が敷かれている。  
羨道部は礫敷き。





## ● 世田谷区 殿山古墳群と副葬品

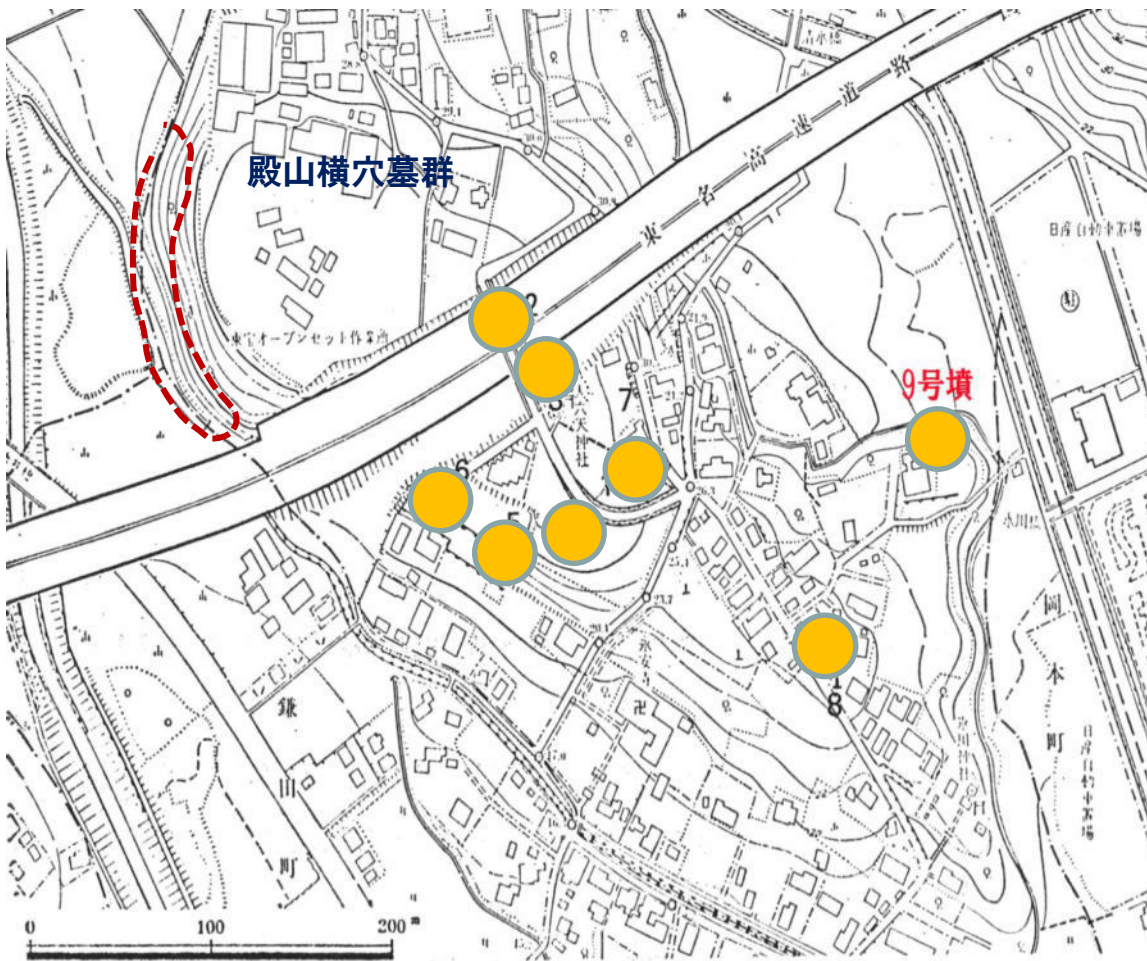


Fig 1 殿山遺跡全体図 ■：住居址，1：1号墳，2：2号墳，3：3号墳，4：4号墳，5：5号墳，6：6号墳，7：7号墳，8：大將塚，

殿山古墳群の分布



1号墳の石室

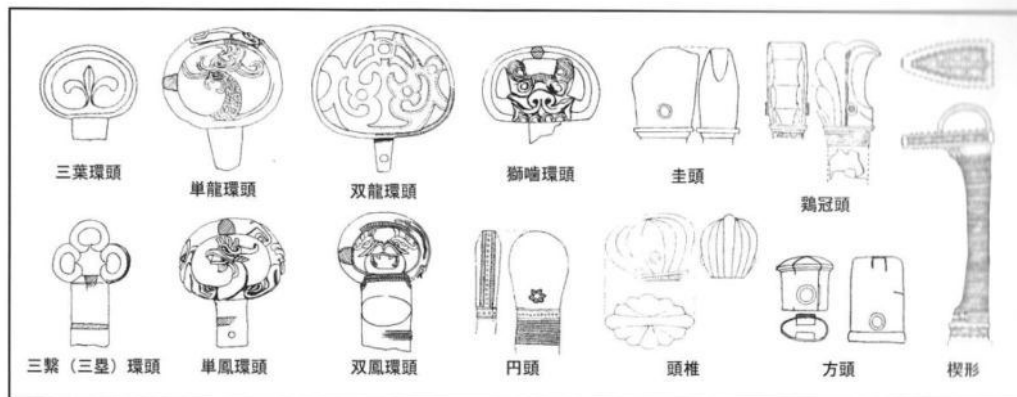


9号墳出土圭頭大刀

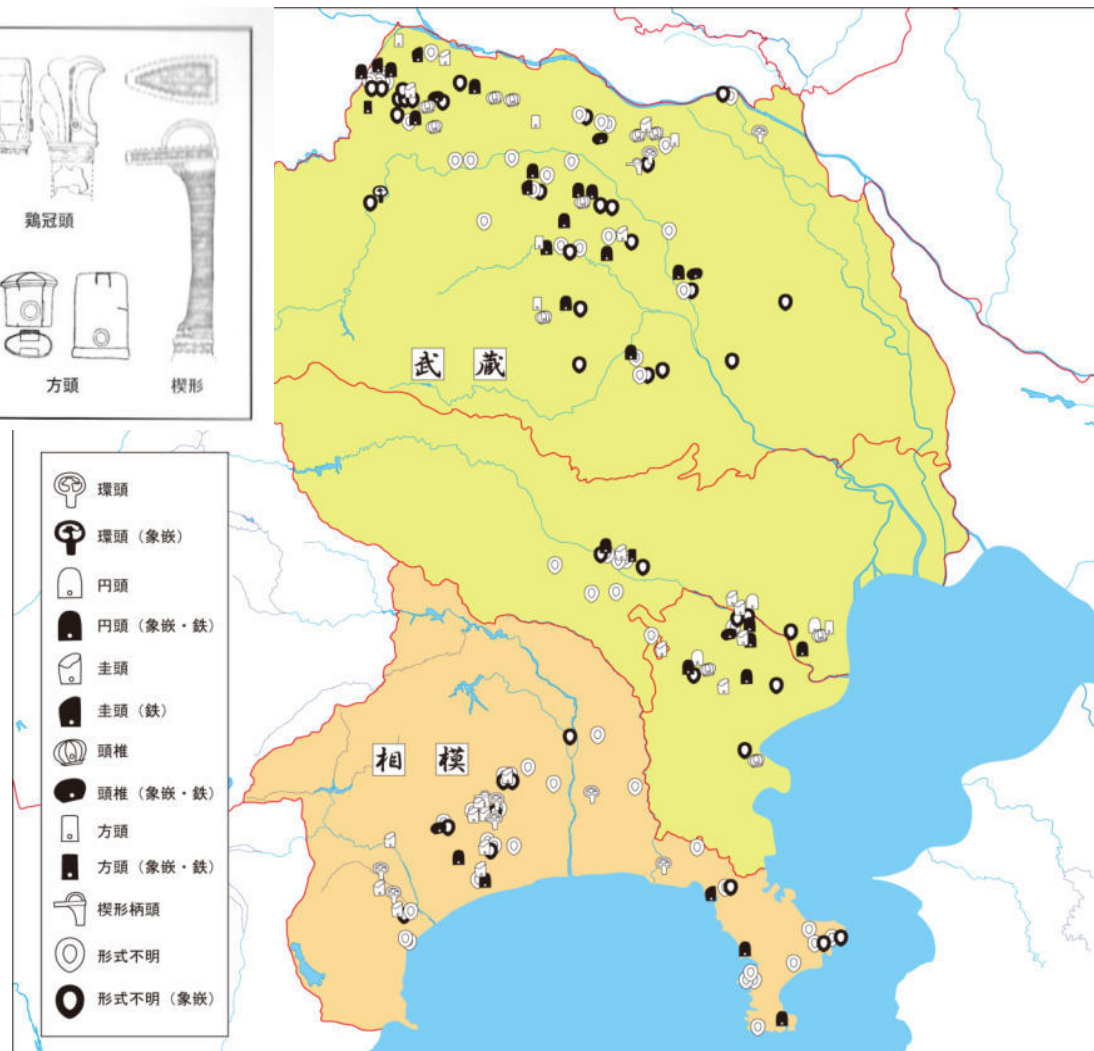


# ① 副葬品からのアプローチ

## ■ 装飾付大刀の種類・分布



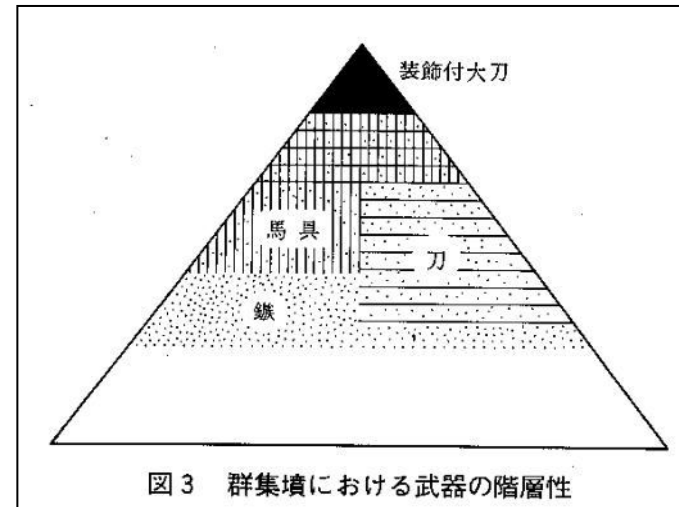
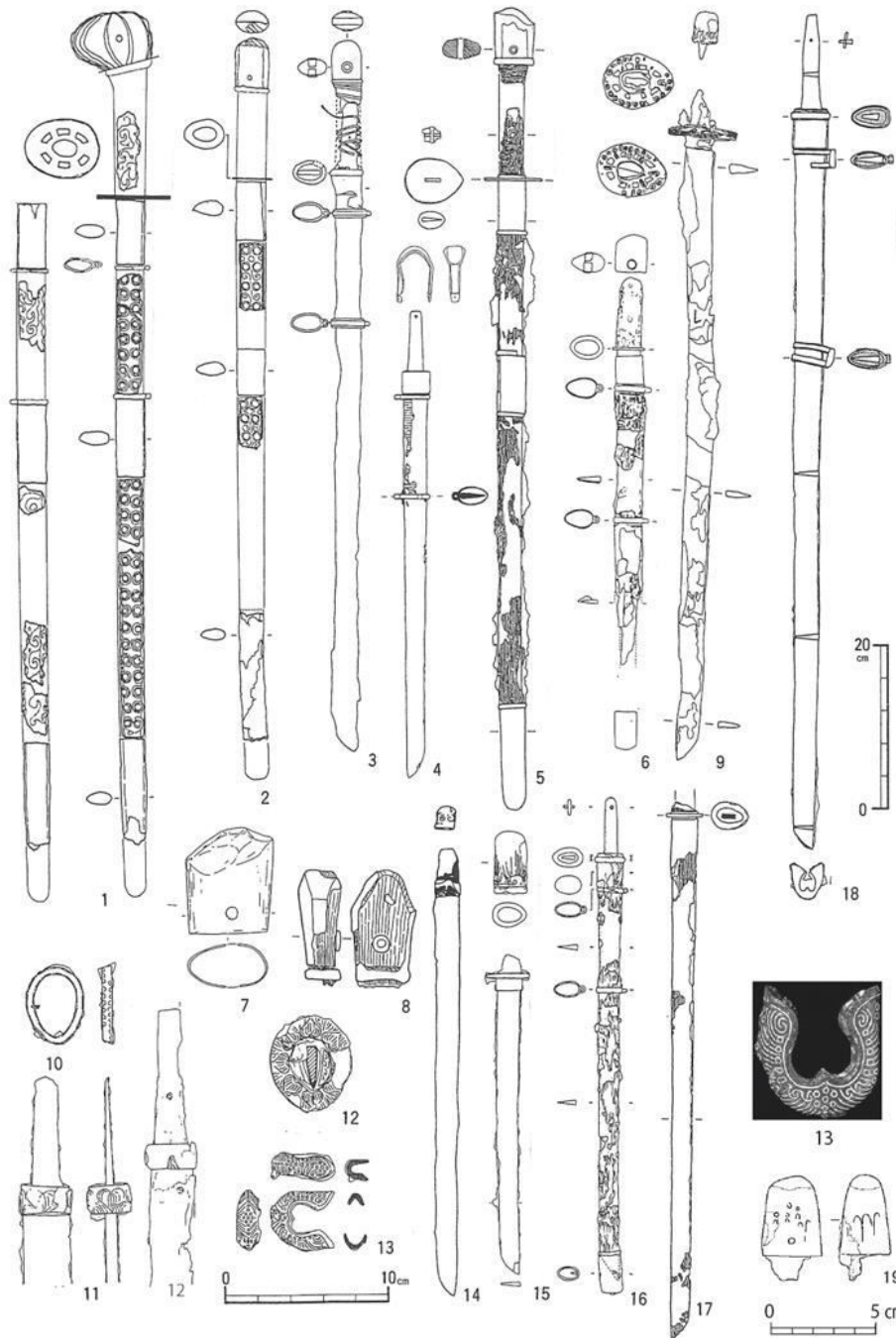
- ・ 北武蔵、相模では環頭大刀が分布
- ・ 南武蔵では環頭大刀は見られない
- ・ 北武蔵では終末期の前方後円墳（小見真観寺古墳）に匹敵する副葬品が、南武蔵の横穴墓（塚越14号墓）に副葬される。
- ・ 威信財は各流域の特定の範囲に分布する傾向がある。





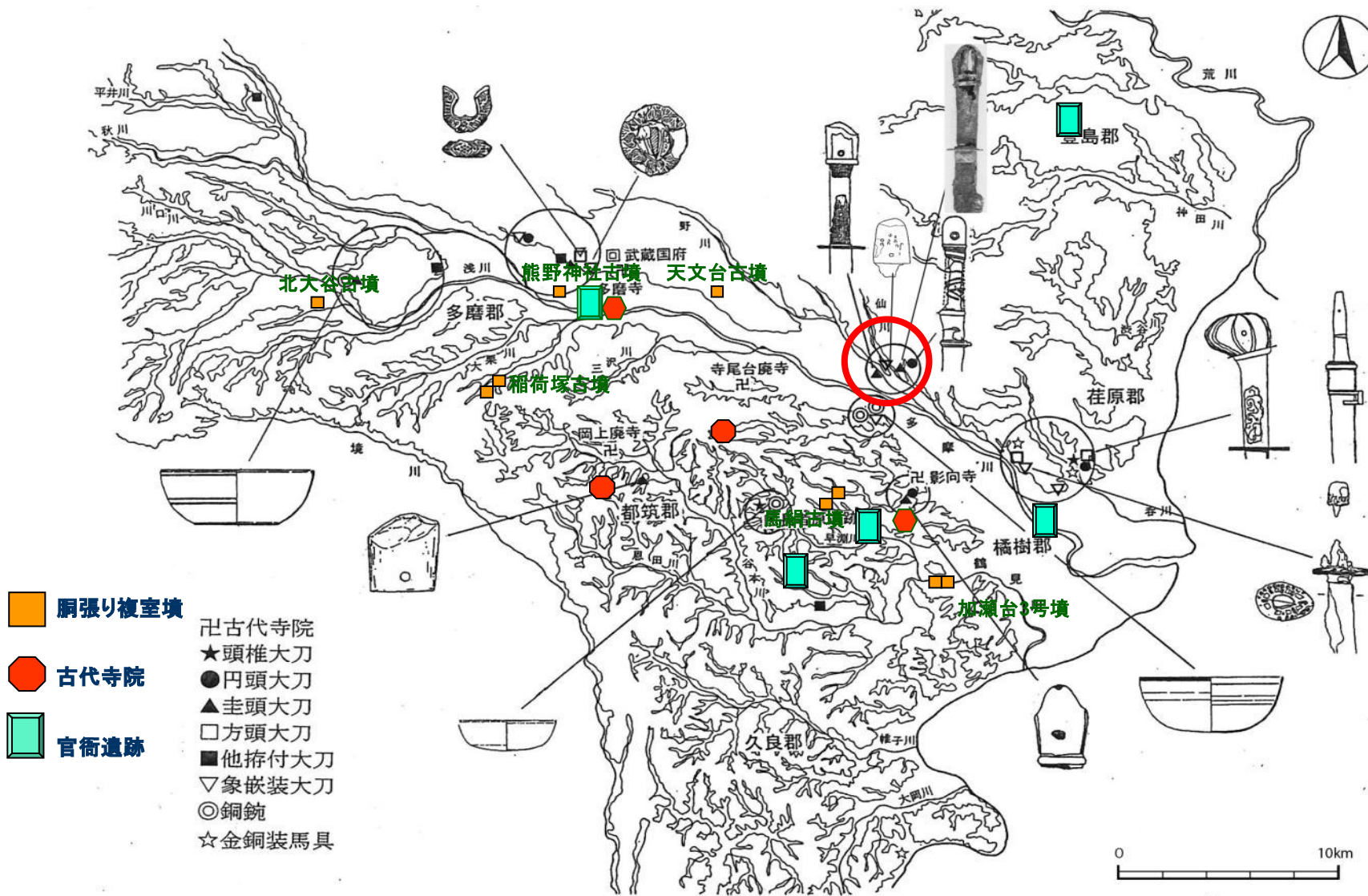
## ●南武蔵出土の畿内系器物

- ・終末期の石室墳・横穴墓から出土する。
- ・北武蔵、相模とは異なり、装飾付大刀の環頭大刀は見つかっていない。
- ・横穴墓に象嵌装大刀が伴う事例が多い。
- ・横穴墓から銅鍔の優品も出土。  
⇒ 横穴墓の造墓集団と畿内系豪族との関係性が想定されるのでは？





## ● 南武蔵地域の威信財分布





## ■ 古墳・横穴墓の畿内系器物

多摩川流域の古墳や横穴墓からは、威信財とされる装飾付大刀や象嵌装大刀、銅鏡などの畿内系器物が出土している。

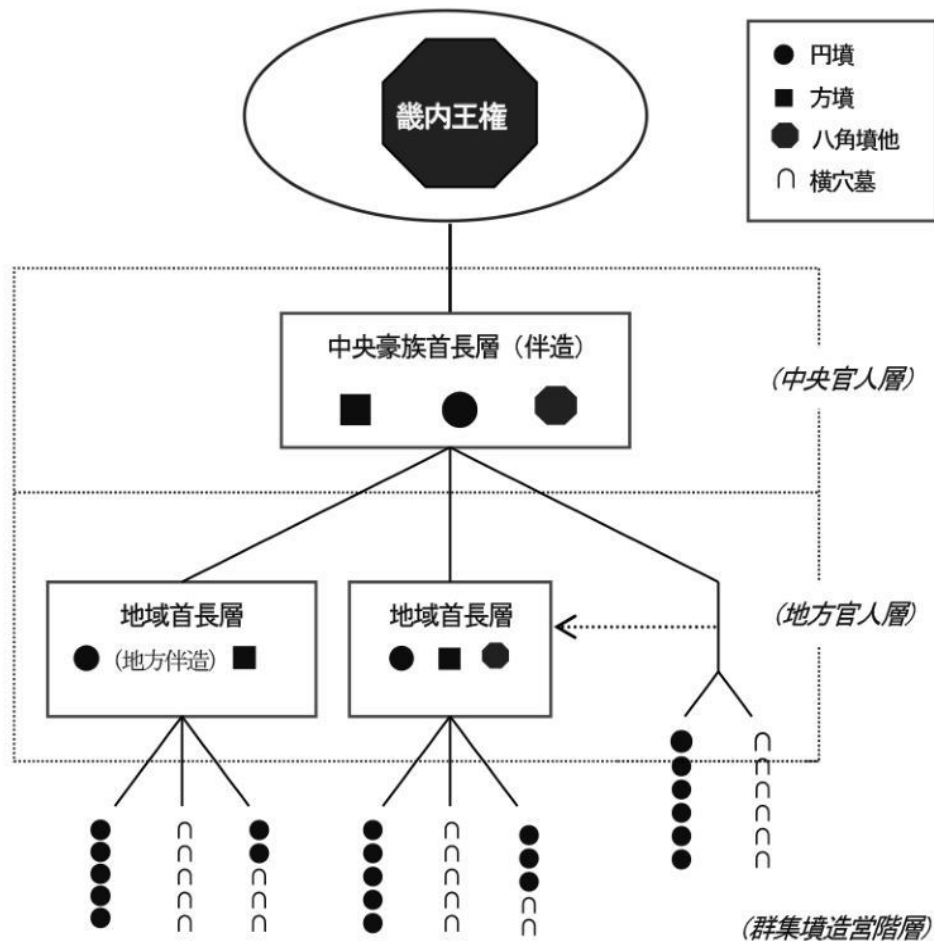
各地の中小豪族が中央や地方豪族との関係性の中で、受容したものであり、おもに新たに地域開発を担った新興集団に与えられた可能性もある。

7世紀以降、畿内系器物は「南武蔵」の地域統合に向けての一定の役割を有したと考えられる。

※飛鳥時代の銭貨のモチーフが府中熊野神社古墳の大刀装具にも反映されている。畿内の工房で製作されたものか。



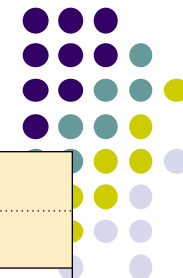
七曜文



南武蔵の地域編成モデル案



## ② 埋葬人骨からのアプローチ



横穴墓名称	埋葬人骨数	年齢層の区分 / 性別				
		乳幼児～小児	少年～成年	壮年	熟年～老年	不明
成城学園 I 号墓	2～3 体					● ● ●
成城学園 III 号墓	2 体					● ● ●
等々力溪谷 3 号墓	3 体	●	●/♂ 受傷骨	●/♀		
岡本谷戸 1 号墓	2 体			● ●/♂・♀		
玉川野毛町横穴墓	3 体	●	● / ♀		● / ♂	
不動橋1号墓	3 体			●/♂	● ●	
不動橋3号墓	3 体		●/♀	●/♂		●
不動橋6号墓	3 体			●/♂ ●/♂	●/♀	
中神明 1 号墓	1 体				●/♂	
中神明 2 号墓	3 体		●/♂	●/♂ ●/♀		
中神明 3 号墓	2 体		● ●			
中神明 7 号墓	2 体				●/♂	●
下野毛岸 2 号墓	2 体		●/♀		●/♂	
下野毛岸 3 号墓	1 体?					●
下野毛岸 4 号墓	2 体以上				●/♂	

男性＝13体

女性＝7体

※壮年以上の埋葬比率は約3:1の割合で男性が多い傾向。同世代での男女の埋葬例が少ない。単体埋葬例があまり見られない。



## 殿山横穴墓群埋葬人骨の属性

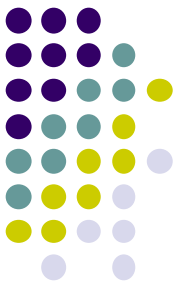
横穴墓名称	埋葬人骨数	年齢層の区分 / 性別				
		乳幼児～小児	少年～成年	壮年	熟年～老年	不明
殿山3号墓	4 体	●		● ● ● / ♂		
殿山4号墓	1 体			● ?		
殿山7号墓	3 体	● ●		● / ♂		
殿山8号墓	1 体					
殿山10号墓	1 体					
殿山11号墓	5 体	● ●	● ●	● / ♂		
殿山13号墓	2 体			● ●		
殿山16号墓	6 体	● ● ●	● ● ●			
殿山17号墓	6 体	● ●	● / ♂ ● / ♀ ● ?	●		

39体

### 殿山横穴墓群の埋葬人骨

- ・9基で約40体が埋葬されたが、遺存状態が悪く実態はそれ以上である。
- ・3号墓、7号墓などの古い段階では、壮年期と幼児・小児の組合せ。
- ・全体に、女性人骨が少ない傾向。大田区内の横穴墓でも共通する。
- ・16号墓・17号墓など新しい段階の横穴墓には多体埋葬が見られる。



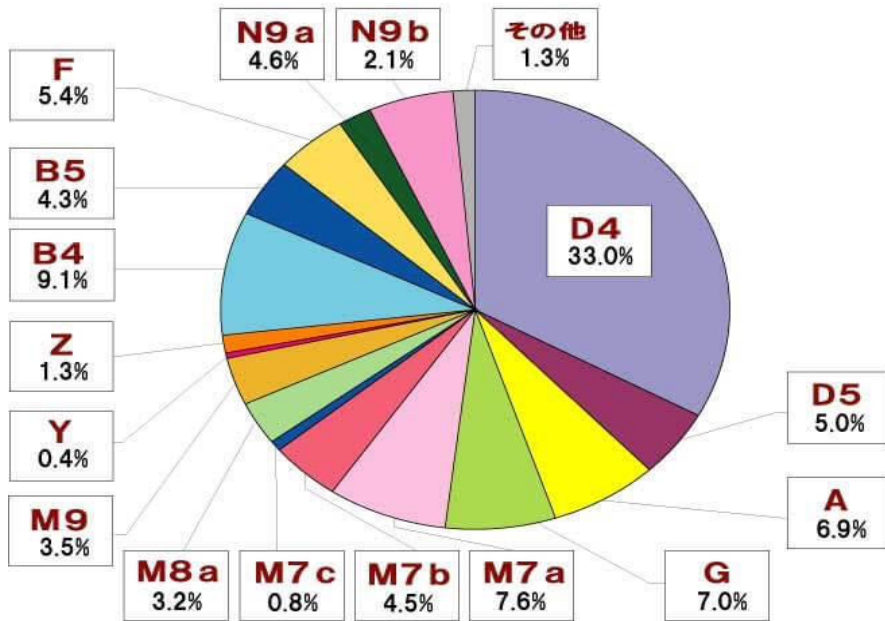


## ● 埋葬人骨のミトコンドリアDNA分析

- ・人骨や歯牙からDNAを採取して、遺伝子型からヒトの属性を探る方法。
- ・都内でも数カ所の横穴墓人骨に関する分析が実施されている。
- ・ミトコンドリアは母方からの遺伝子を示し、ハプログループから人骨間の血縁関係(母系)の有無を調べることができる。

👉 ミトコンドリア型が一致すれば、**同じ母系**に属することがわかる。

日本人の持つ各ハプログループの割合

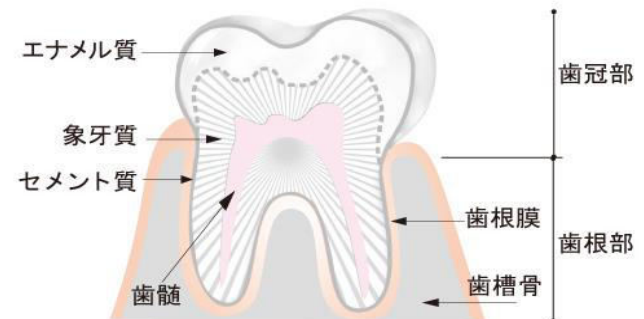


(Discover Japan 2012.8 月号より)

○ D4は西日本の弥生系遺伝子

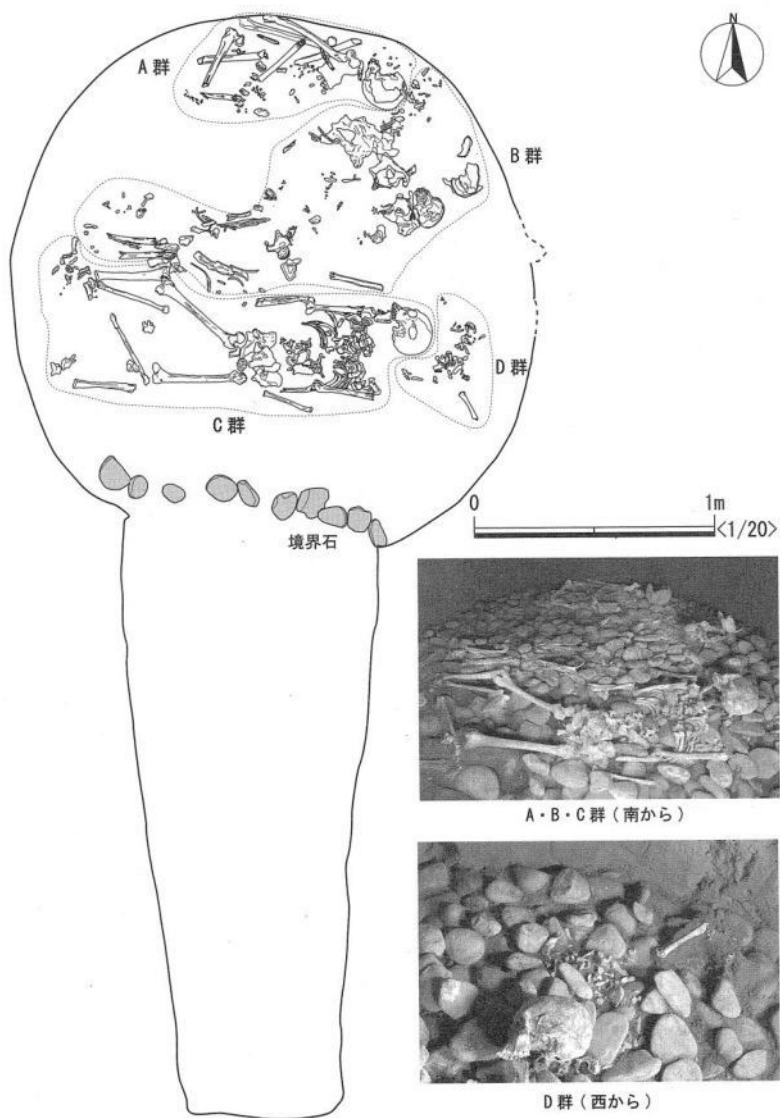
○ M7は伝統的な縄文系遺伝子

○ 形質人類学では歯冠計測による血縁分析もある。

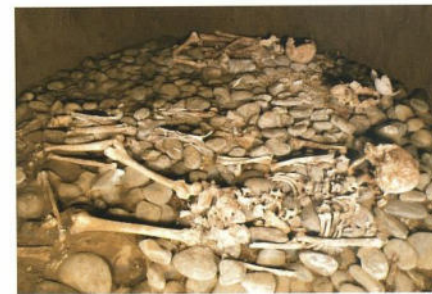




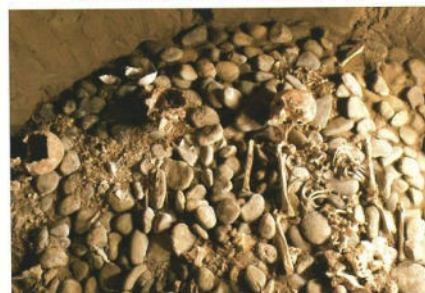
# ■羽根沢台9号墓の人骨出土状況



人骨出土状態（南く羨道＞から）



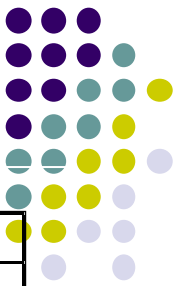
人骨出土状態（入口から）



9号墓では、最後に埋葬されたC人骨以外は集骨またはかたづけられた状態で検出。



## 三鷹市羽根沢台横穴墓群の埋葬人骨



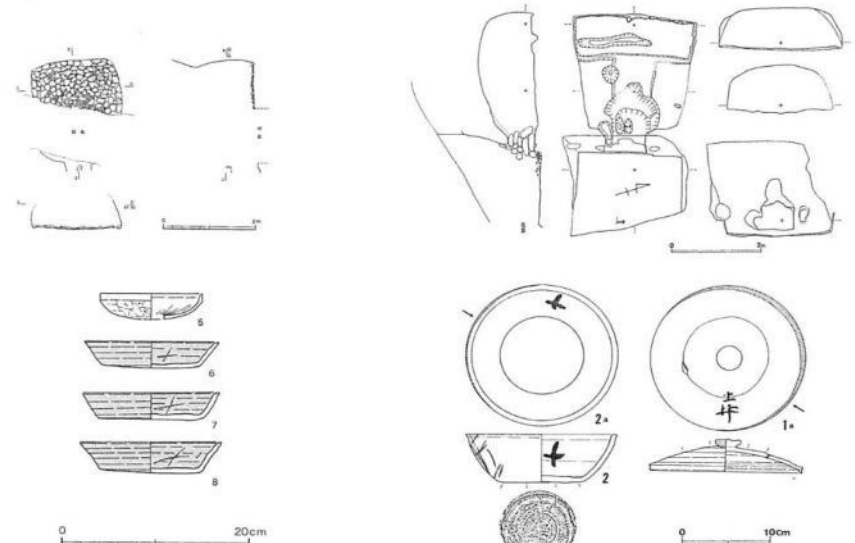
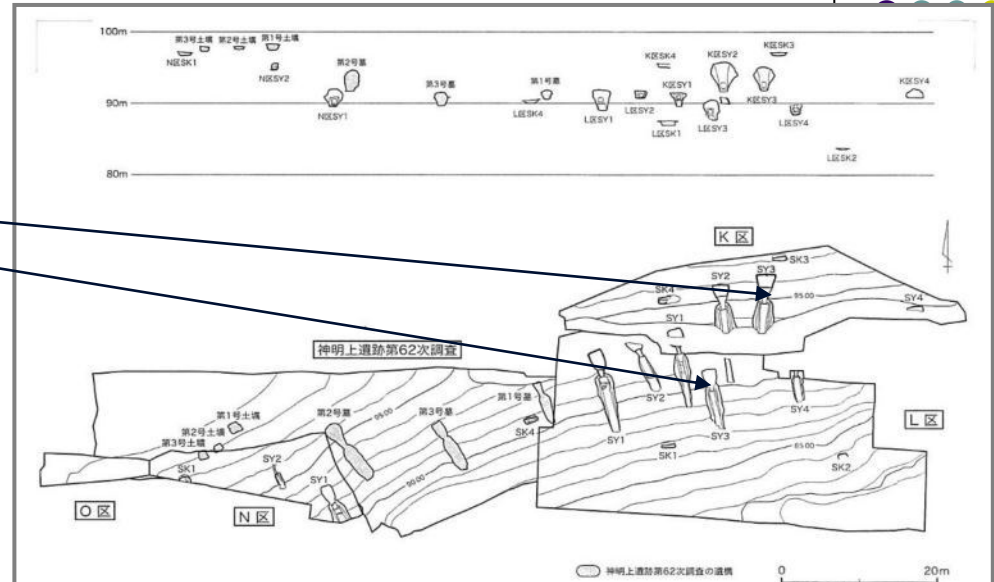
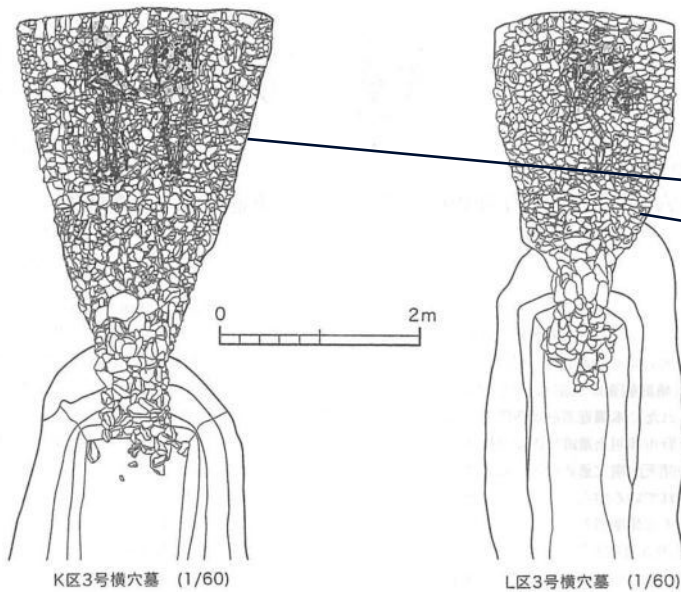
	乳幼児	小児・少年	青年	壮年～熟年	合計
1号墓		3		6	9
2号墓	1	1	2	2	6
3号墓	2	1	1	4	8
4号墓	1		2	3	6
5号墓	6			1	7
6号墓	1			3	4
9号墓	1			5	6
10号墓			1	3	4
11号墓			1	1	2
12号墓				4	4
	12	5	7	32	56

9号墓→4体からDNA検出	ハプログループM7a	2体	D4b	1体
12号墓→3体からDNA検出	ハプログループD4	2体	D4a	1体
D4は渡来系弥生人に多い型。 M7aは縄文人に多い型。				

※現代日本人のDNA    D4≒32.6%    M7a≒7.47%



# ■ 日野市神明上横穴墓群の埋葬と終焉期の横穴墓



L区3号墓に葬られた人は.....



# 日野市神明上遺跡横穴墓群の埋葬人骨



	乳幼児	小児・少年	青年	壮年～熟年	合計
K区1号墓				4	4
K区2号墓	1		1	4	6
K区3号墓				2	2
L区1号墓	2			2	4
L区2号墓				1	1
L区3号墓				1	1
N区1号墓	1			1	2
	4	0	1	15	20

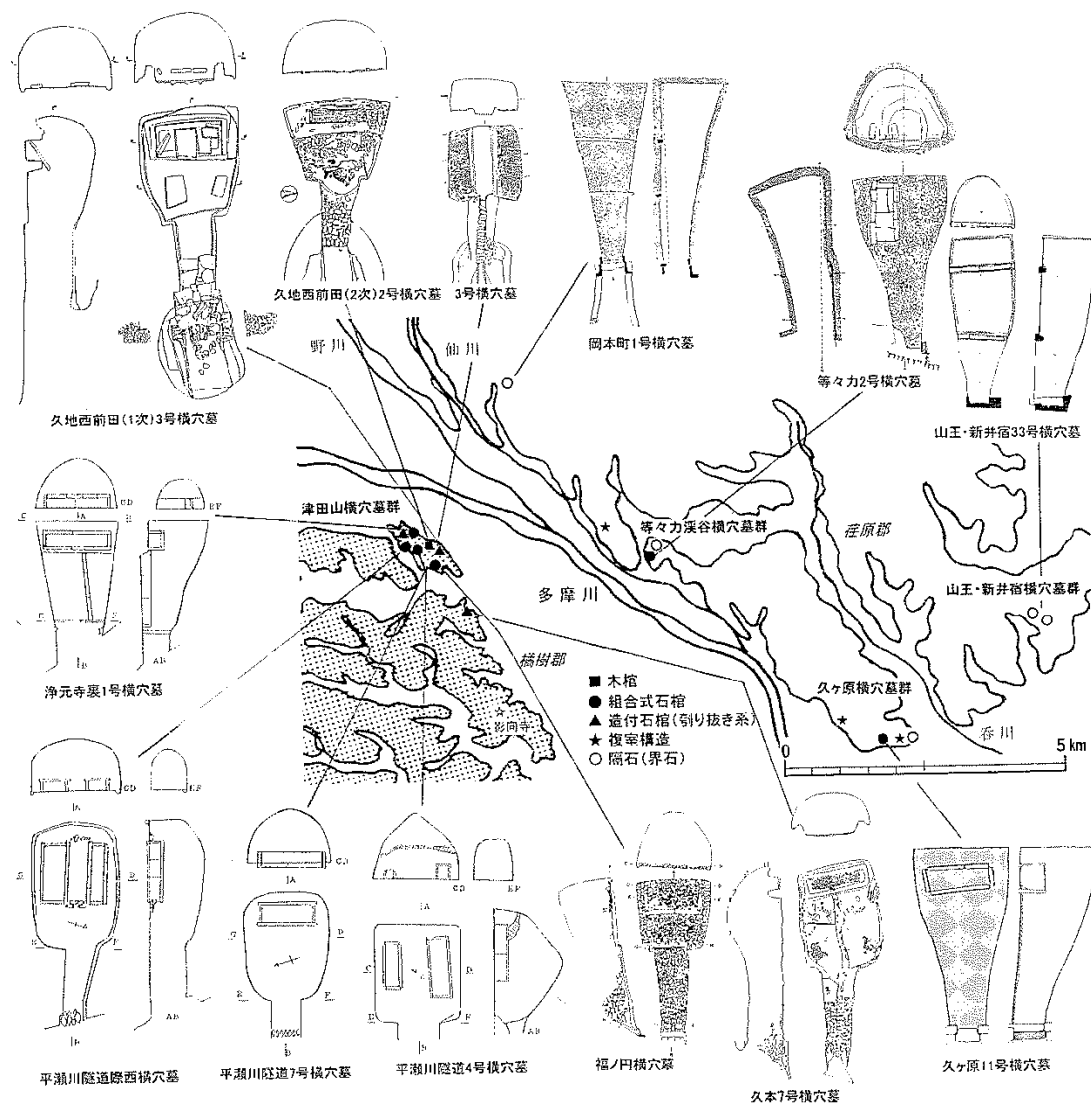
K区3号墓→1・2号人骨から異なるDNA検出    ハプログループA	
L区3号墓→単体からDNA検出    ハプログループC	

※現代日本人のDNA    A≒6.85%    C≒0.3～0.46%

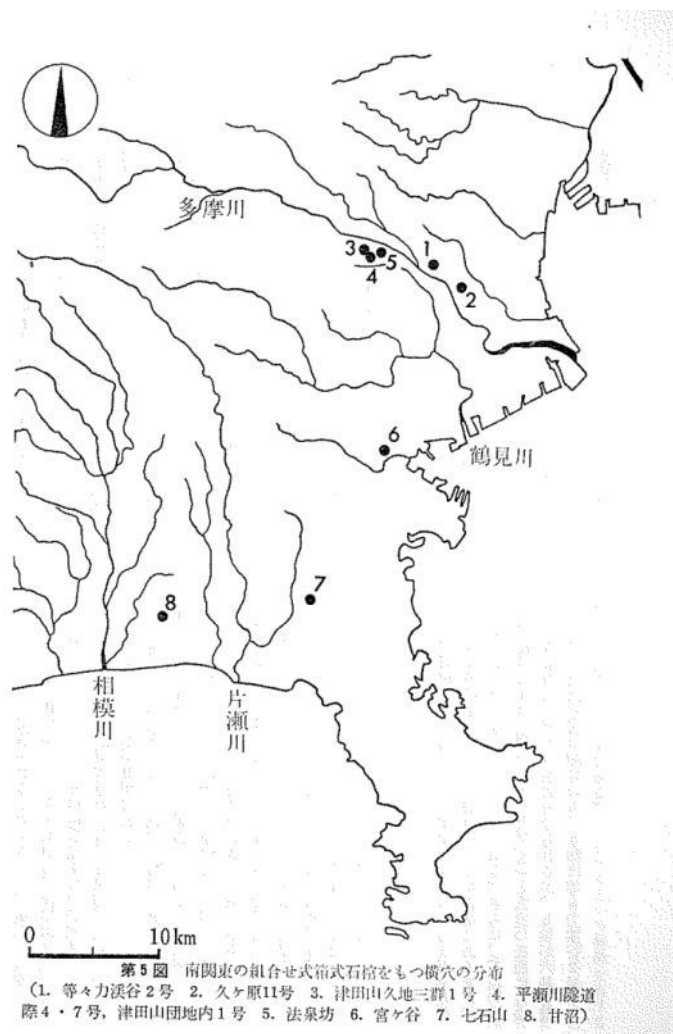
k-3号墓のみ    ♀は塩基配列が異なることから、夫婦の可能性あり



### ③ 地域史から見た横穴墓の性格



多摩川流域の出現期横穴墓



石棺内蔵横穴墓の分布



## ● 横穴墓制の伝播経路

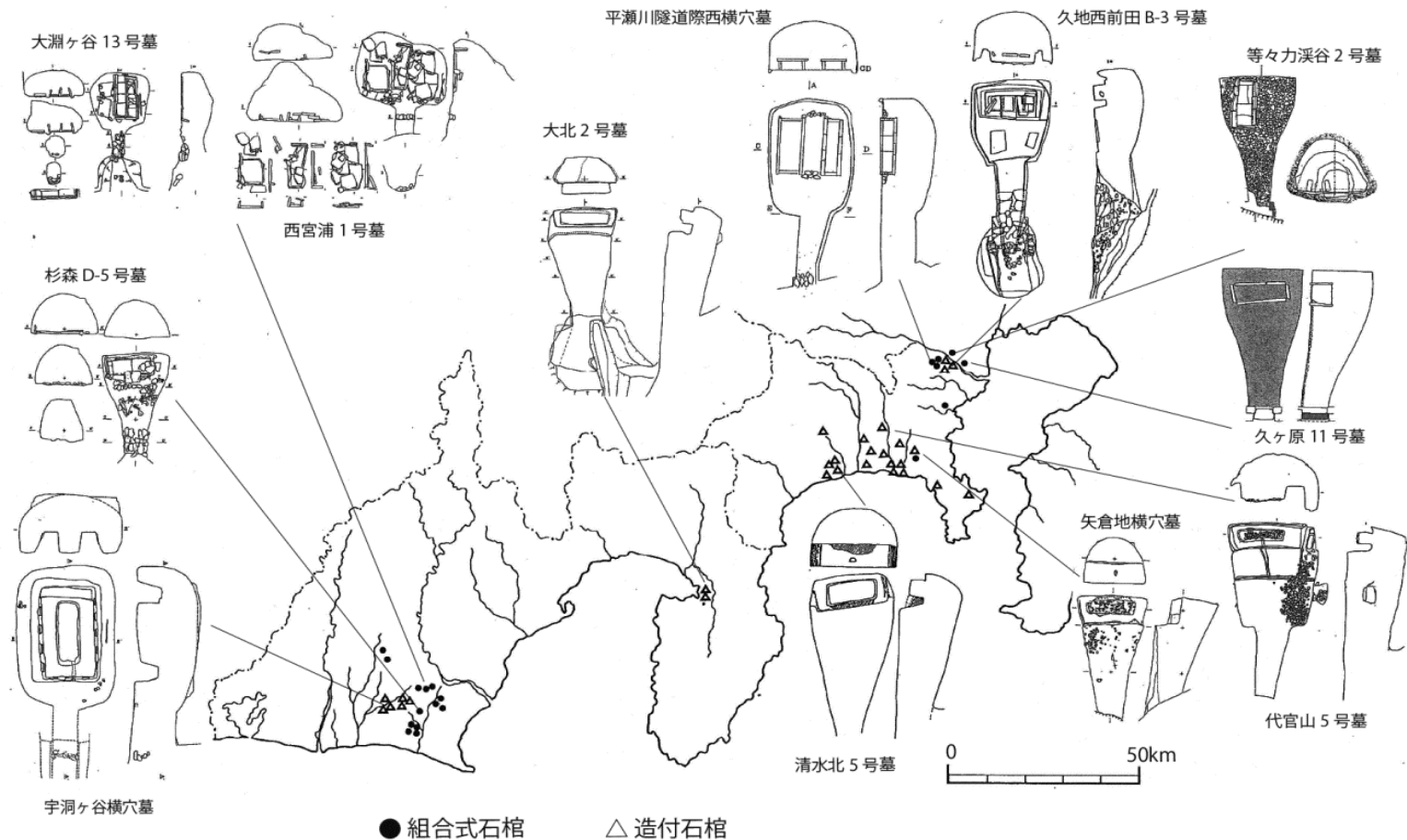
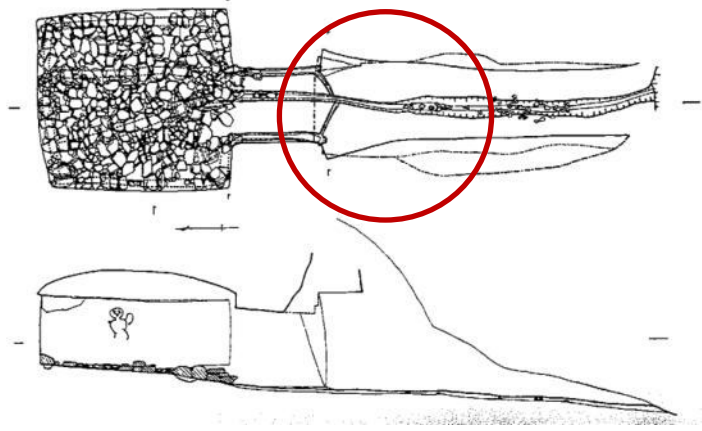


図 77 石棺内蔵横穴墓の分布 (筆者作成)

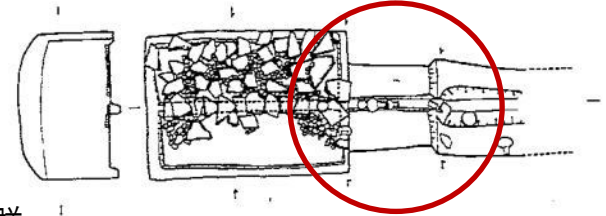
- ・横穴墓の故地と推測される遠江の菊川・太田川流域には、馬具を副葬する横穴墓が多く分布しており、伝播の背景に馬匹等の職能集団が関与した可能性がある。



# ● 河内の横穴墓と殿山横穴墓群の比較

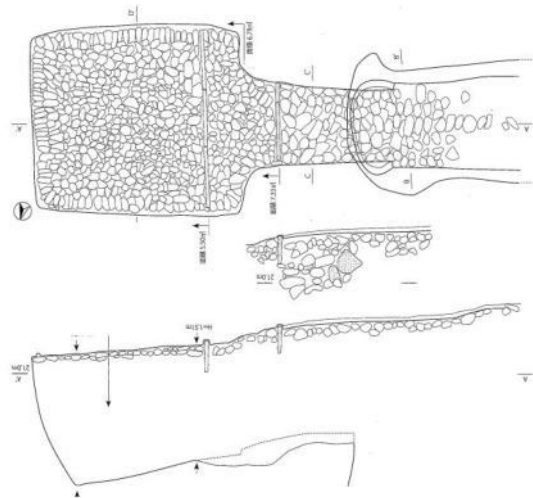
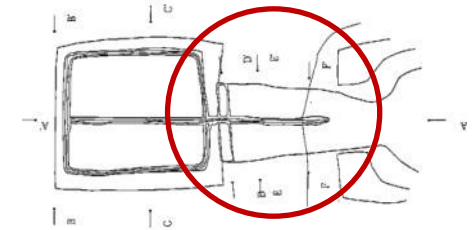
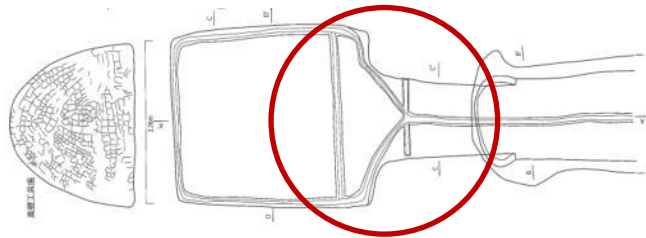


柏原市玉手山東横穴墓群

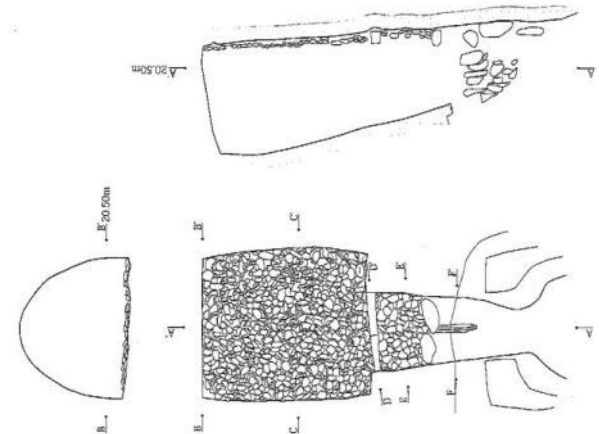


## 【共通する構造】

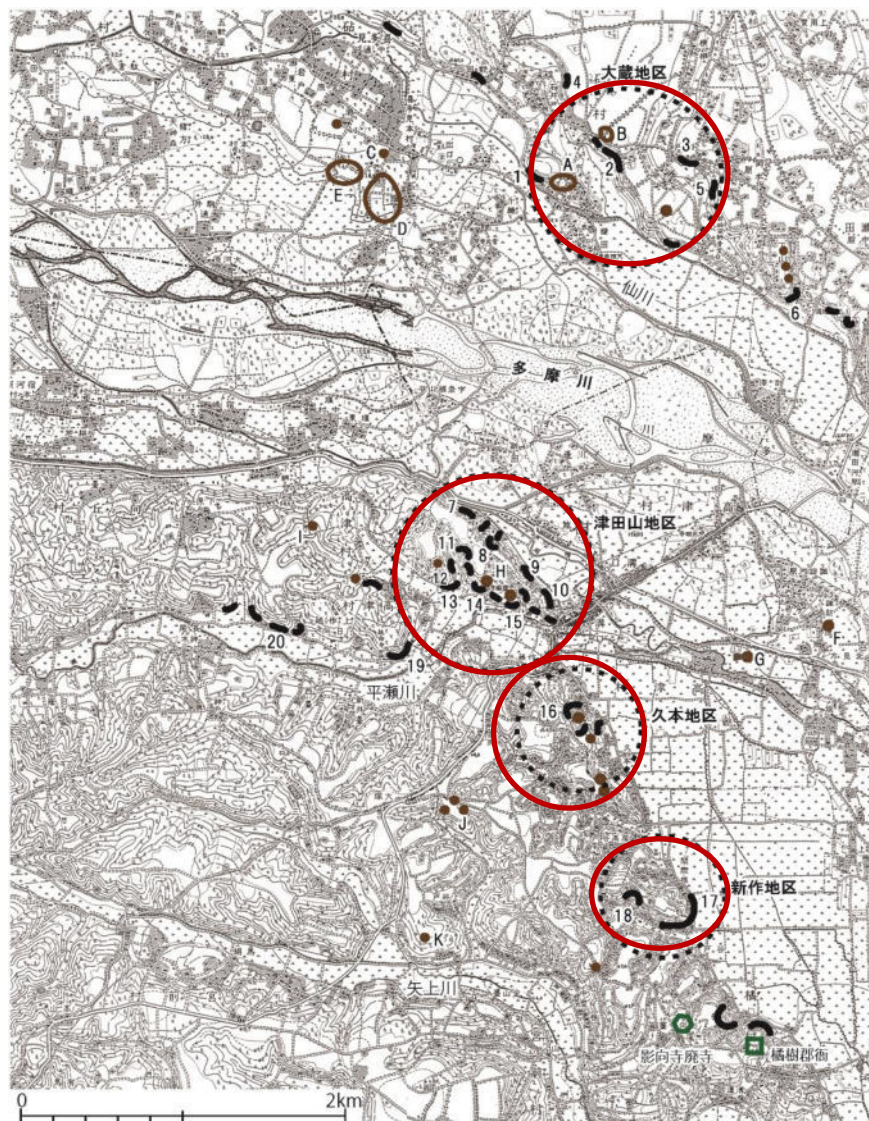
- ① 墓室の平面形態
- ② 墓室・羨道の排水溝
- ③ 羨道と墓道の区分



世田谷区殿山横穴墓群







1. 駒山横穴墓群 2. 西谷戸横穴墓群 3. 岡本谷戸横穴墓群 4. 大蔵団地横穴墓群 5. 岡本原横穴墓群 6. 玉川病院下横穴墓群 7. 久地神社裏横穴墓群  
8. 浄元寺裏横穴墓群 9. 久地西前田横穴墓群 10. 溝口西耕地横穴墓群 11. 平瀬川隧道際横穴墓群 12. 平瀬川隧道西横穴墓群 13. 中之橋横穴墓群  
14. 日向横穴墓群 15. 下作延横穴墓群 16. 久本横穴墓群 17. 間原根横穴墓群 18. 新作横穴墓群 19. 上作延横穴墓群 20. 緑ヶ丘霊園南横穴墓群  
A. 駒山古墳群 B. 大蔵古墳群 C. 喜多見稲荷塚古墳 D. 陣屋古墳群 E. 慶元寺古墳群 F. 諏訪天神塚古墳 G. 二子塚古墳 H. 日向古墳 I. 下作延稲荷塚古墳  
J. 法界寺古墳 K. 馬嶺古墳

図1 多摩川中流域における後・終末期の横穴墓・古墳分布

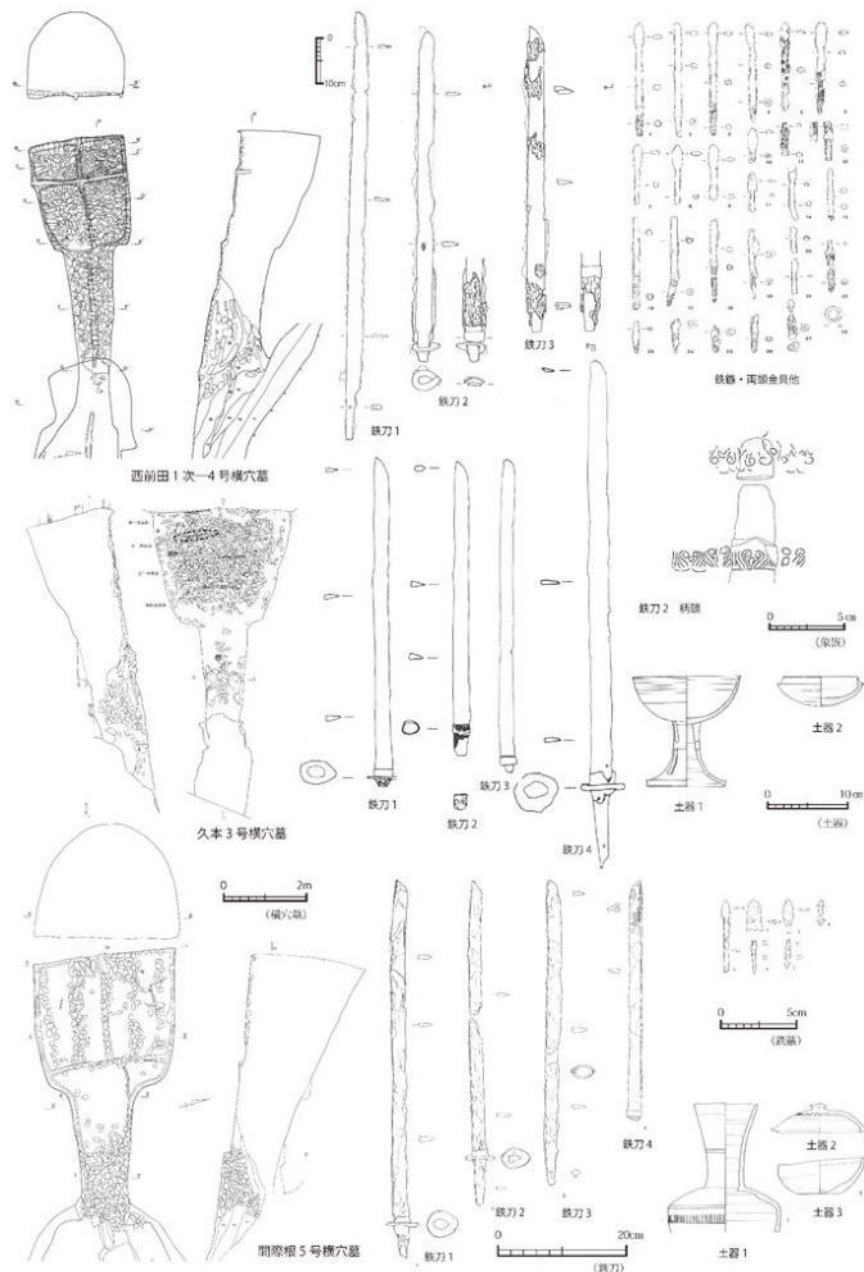
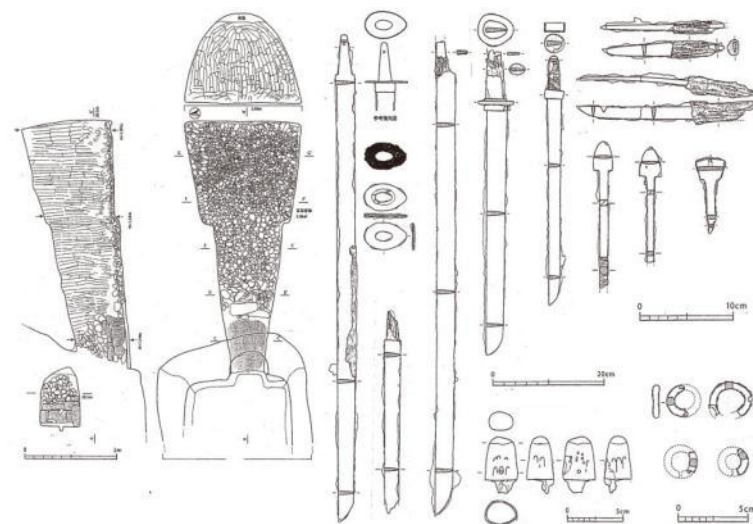
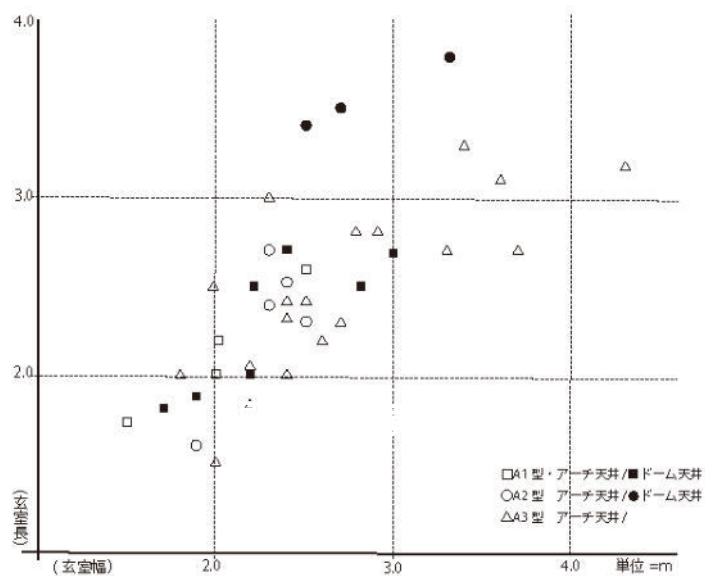


図3 津田山丘陵および周辺の横穴墓



## ● 多摩川中流域の横穴墓群の比較

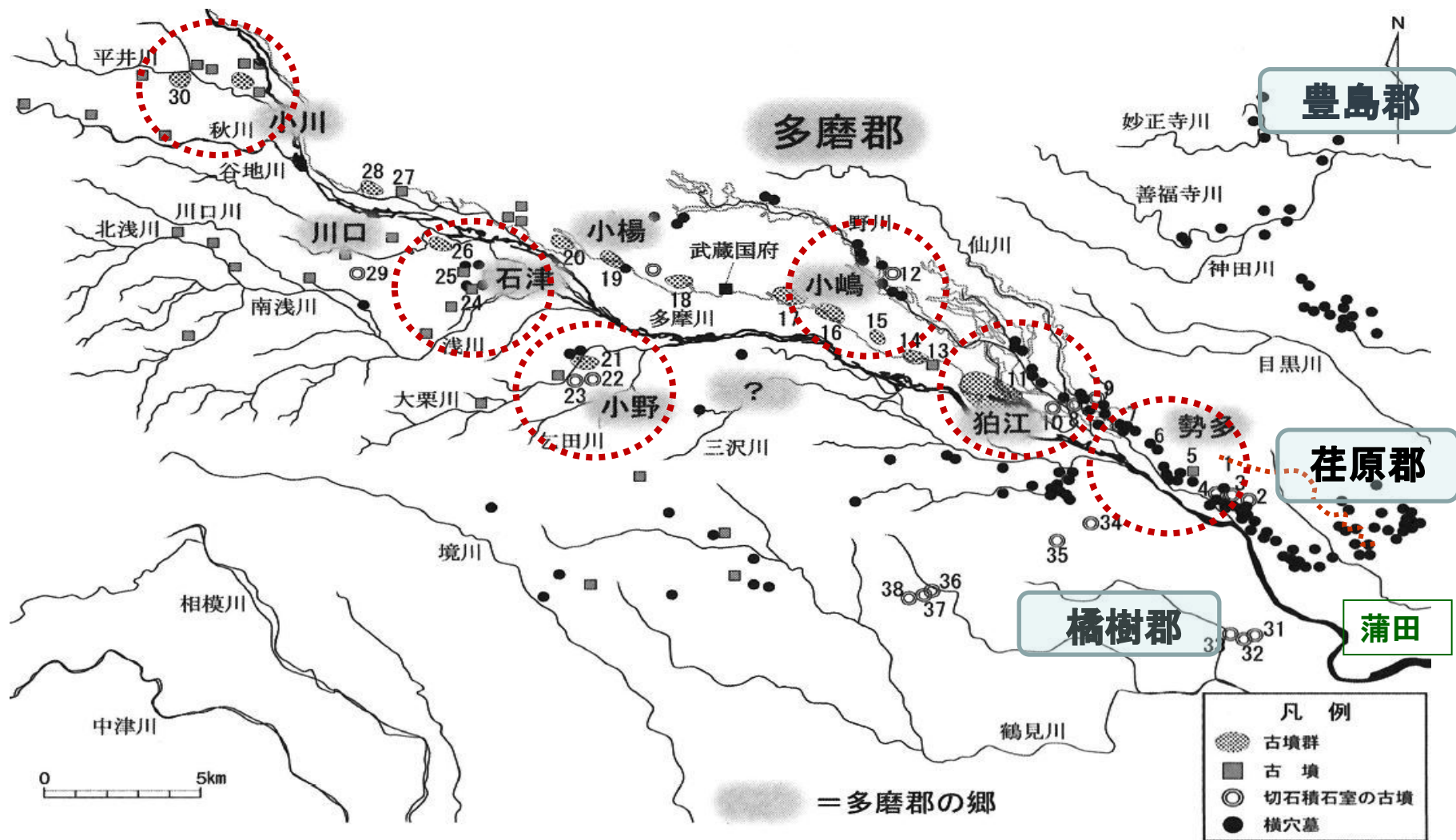


殿山3号横穴墓

時期		TK43	TK209	TK217
			600年	640年
墓室構造	有袖矩形平面	—————	—————	—————
	複室矩形平面		—————	—————
	無袖撥形平面	■■■■	—————	—————
	石棺(造付・組合せ)	—————	—————	—————
	主軸排水溝	—————	—————	—————
	有段屍床	—————	—————	■■■■
	界石・石障区分		—————	■■■■
	規模縮小			—————
	ドーム形天井	—————	—————	■■■■
	アーチ形天井	■■■■	—————	—————



# ● 和名類聚抄にみる郷名と比定地





# 本日のまとめ

- ・南武蔵では6世紀後葉から石室墳と併行して、横穴墓群が多く形成される。
- ・多摩川流域は横穴墓の密集地帯であり、前方後円墳の消滅後に急速に分布域を拡大する。
- ・荏原郡・橘樹郡域に墓室内部に石棺を内蔵するものが初期に出現することから、横穴墓制が河内や東海地方から伝播した可能性がたかい。
- ・畿内系器物(威信財)が横穴墓に副葬される事例も多く、7世紀代に畿内系豪族との関係を有する新興集団(職能集団等)の存在が窺える。
- ・埋葬人骨の特性から横穴墓集団には、伝統的な縄文形質を残す人々も含まれていることから、横穴墓に葬られた人々は外来系を含む多様な集団構成を有していた。
- ・古墳時代終末期に展開する横穴墓群は、畿内の倭王権による地域統合が進行する中で、地域の開発(氏族)集団としての役割を担う存在であった。

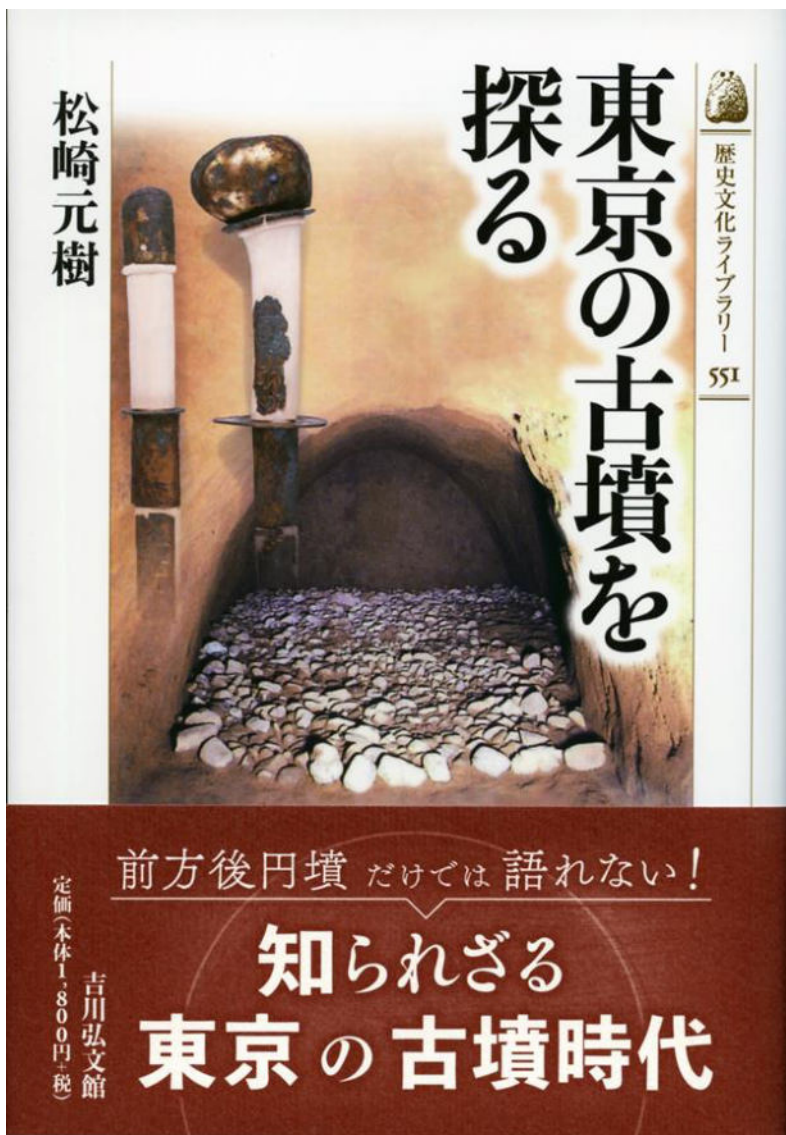


**横穴墓群の解明なくして、東京の古代史は語れない！！**



# ご清聴ありがとうございました！

## 本の宣伝



判型・ページ 数	四六・272 ページ
定価	1,980円(税 込)
在庫	在庫あり